

報告資料 2

令和 8 年度昭島市立学校学校経営重点計画（教育推進計画）について

1 目的

- ・各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的に改善を図ること。
- ・各学校が、自己評価及び学校関係者評価の実施とその結果の説明・公表により、保護者、地域住民から自らの教育活動その他の学校運営に対する理解と参画を得て、信頼される開かれた学校づくりを進めること。
- ・教育委員会が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の必要な措置を講じることにより、教育の質を保証し、その向上を図ること。

2 スケジュール

学期	学 校 の 取 組		教育委員会事務局 の取組
	自己評価	学校関係者評価委員会 (学校評議員会・学校連絡協議会)	
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○学校経営方針の確認 ○学校評価計画の作成・ホームページへの公表 ○自己評価（中間）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評議員（学校関係者評価委員）の選任 ○第1回学校評議員会及び学校連絡協議会 ・学校経営方針・学校評価計画の説明 ○学校関係者評価の実施 ・授業参観、行事参観等 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価計画の受付・とりまとめ ○教育委員会への前年度学校評価結果の報告と今年度の評価計画の報告
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○自己評価（中間）の提出 ○児童・生徒、保護者アンケートの実施 ○教育課程届出説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校関係者評価の実施 ・授業参観、行事参観等 ○第2回学校評議員会及び第3回学校連絡協議会 ・自己評価（中間）報告 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己評価（中間）の受付 ○教育課程届出説明会
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○自己評価（年度末）の実施 ○教育課程の作成・提出 ○学校評価結果報告書の提出・ホームページへの公表 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校関係者評価の実施 ・授業参観等 ○第3回学校評議員会及び第5回学校連絡協議会 ・自己評価（年度末）報告 ・学校関係者評価のとりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育課程届出相談・自己評価結果ヒアリング ○教育課程届出受付 ○学校評価結果報告書受付・とりまとめ ○教育委員会への報告（翌年度）

3 各学校の計画

別紙による

学校教育目標	◎よく考える子 ◎思いやりのある子 ◎健康で明るい子	【目指す学校像】	○子供たちが、安全・安心に楽しく過ごせる学校 ○家庭・地域と共にある学校 ○子供たちが、学ぶ喜びを実感できる学校
		【目指す児童・生徒像】	○自ら考え、主体的に学ぶ子供 ○互いを尊重し、思いやりのある言動をとることができる子供 ○心身ともに健康で、活力のある子供
		【目指す教師像】	○人権感覚を磨き、子供を大切にする教師 ○常に向上心をもち、指導力の向上に努める教師 ○公務員としての自覚をもち、信頼される教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	学ぶ楽しさを実感できる授業改善の推進 日常の指導の充実	基礎的・基本的な学習内容の確実な定着	指導と評価の一体化した授業 ○タブレット端末を有効に活用した授業実践 ○学力調査の結果の分析及び授業改善推進プランの作成・実行 ○めあてを明確にし、振り返りを確実に「児童が主体的に学ぶ授業の実践」	4 4項目全て取り組むことができた		4 90%以上の児童が授業が分かると回答					
			読書に関する指導や読書の習慣化への取組を日常化した読書活動の充実	○朝読書の確実な実施 ○読書月間の取組の充実 ○学校図書館・図書支援員の有効活用 ○授業での図書資料の活用	3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		3 80%～90%未満の児童が授業が分かると回答 2 70%～80%未満の児童が授業が分かると回答 1 70%未満の児童が授業が分かると回答				
			多様性に応じた指導、インクルーシブ教育の推進	○校内委員会での共通理解 ○特別支援教室教員との連携 ○ユニバーサルデザインを意識した環境づくり ○個に応じた教材・教具の工夫	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 80%以上の児童が授業にすすんで取り組んでいると回答 3 80%～90%未満の児童が授業にすすんで取り組んでいると回答 2 70%～80%未満の児童が授業にすすんで取り組んでいると回答 1 70%未満の児童が授業にすすんで取り組んでいると回答				
豊かな心	自然体験活動や福祉体験、勤労体験活動等の豊かな体験の場を設定し、人と関わり合いの中で、子供の内面を育てる道徳的な指導の実践	道徳全体計画、年間計画の見直しと「特別の教科 道徳」の授業改善と充実	○年間指導計画の確実な実施 ○道徳的価値や内容項目を明確にした授業の実施 ○振り返りの際の教師による価値付け ○全教育活動を通じた道徳教育の実施	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 90%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 3 85%～90%未満の児童が自分や友達を大切にしていると回答 2 80%～85%未満の児童が自分や友達を大切にしていると回答 1 80%未満の児童が自分や友達を大切にしていると回答					
			いじめの未然防止と早期発見、早期対応を推進し、安全で安心な学校の実現	○毎学期のアンケートを生かし、スクールカウンセラーや専門機関と連携し、いじめ・不登校0の実現 ○学校いじめ対策委員会を中心とした迅速かつ密な情報共有による組織的な対応	4 アンケート実施後の個別対応100% 3 アンケート実施後の個別対応95% 2 アンケート実施後の個別対応90% 1 アンケート実施後の個別対応85%		4 不登校(傾向を含む)人数0人 3 1人 2 2人 1 3人				
			学校行事等を通して異年齢間の交流を深め、豊かな人間性の育成	○保育園・こども園・中学校・高等学校・高齢者等との交流体験活動の実施 ○外部講師を活用した体験活動の実施 ○学級園での栽培体験学習の実施 ○縦断的班活動の工夫と充実	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 90%以上の児童が学校が楽しいと回答 3 80%～90%未満の児童が学校が楽しいと回答 2 70%～80%未満の児童が学校が楽しいと回答 1 70%未満の児童が学校が楽しいと回答				
健やかな体	様々な運動を体験させて、その特性に触れた運動技能を身に付けさせる体力向上の実践及び健康教育・食育の推進	学年や学級、異年齢集団での遊びの奨励	○休み時間の外遊びの奨励 ○運動に楽しみややりがいを醸成 ○「壁」づくりでの異学年交流遊びの充実 ○体育の授業や運動会を活用した児童の運動への興味・関心を高める取組	4 毎週子供たちと一緒に遊ぶ時間の確保3回以上 3 2回 2 1回 1 0回		4 80%以上の児童が学年や性別に関係なく一緒に遊んでいると回答 3 80%～90%未満の児童が学年や性別に関係なく一緒に遊んでいると回答 2 70%～80%未満の児童が学年や性別に関係なく一緒に遊んでいると回答 1 70%未満の児童が学年や性別に関係なく一緒に遊んでいると回答					
			年間を通じた体力向上への取組(「元気アップガイドブック」等の活用)	○元氣アップガイドブックの活用及び「グッドモーニング60分」への取組 ○運動の特性を生かす体育授業改善 ○めあてが明確な学習の展開 ○マリビック・フランゼック大会後のレガシーを生かした取組	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 80%以上の児童が学校で遊んだり体を動かしたりしていると回答 3 80%～90%未満の児童が学校で遊んだり体を動かしたりしていると回答 2 70%～80%未満の児童が学校で遊んだり体を動かしたりしていると回答 1 70%未満の児童が学校で遊んだり体を動かしたりしていると回答				
			食育の充実	○ランチルームの計画的な有効活用 ○主任栄養教諭や栄養士、共同調理場と連携した食育の推進 ○地域人材や資源を活用した食育に関する授業の実施 ○収穫した野菜等を活用した授業の実施	4 年間で食育に関する授業の実施3回以上 3 2回 2 1回 1 0回		4 年間の残菜率7% 3 年間の残菜率8% 2 年間の残菜率9% 1 年間の残菜率10%				
輝く未来	人権尊重の精神を基調として心身ともに健康な児童の育成を目指し、自他の大切さを認め、人権課題について学び、権利と義務、自由と責任についての認識を深める。また、児童が未来を生きていく力の育成	一人一人のよさを生かし、意欲とまことのある学級集団づくり	○定期的な学級経営の振り返り・評価・改善 ○児童の考えや意見を生かした教育活動 ○学級経営を評価する結果や児童の主体的な活動を有効に生かした児童理解・学級づくり ○学級満足度調査の結果や児童の発言や言動による実態把握と課題の改善への取組	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 80%以上の児童が落ち着いて安心して生活できていると回答 3 80%～90%未満の児童が落ち着いて安心して生活できていると回答 2 70%～80%未満の児童が落ち着いて安心して生活できていると回答 1 70%未満の児童が落ち着いて安心して生活できていると回答					
			学級活動を中心に、全教育活動におけるキャリア教育の充実	○児童の学校生活への満足度の把握 ○仲間意識、結束力があがる教育活動の展開 ○自ら役割を自覚させる教師による働き掛け ○年間指導計画に応じたキャリア教育の実践	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 80%以上の児童が「得意なもの・向いているものがある」と回答 3 80%～90%未満の児童が「得意なもの・向いているものがある」と回答 2 70%～80%未満の児童が「得意なもの・向いているものがある」と回答 1 70%未満の児童が「得意なもの・向いているものがある」と回答				
			保護者・地域と連携し、様々な活動を通して、将来への希望をもたせる	○地域人材・地域資源を活用した取組 ○家庭訪問・個人面談・保護者会等での保護者との情報共有と共通理解 ○専門機関との協力・連携 ○PTA活動・地域行事への理解と協力	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 90%以上の児童が将来について考えたと回答 3 80%～90%未満の児童が将来について考えたと回答 2 70%～80%未満の児童が将来について考えたと回答 1 70%未満の児童が将来について考えたと回答				
働き方改革	教員の心身の健康保持の実現と教員が誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境の整備	教員の意識改革と風土の醸成	○定時退勤日の遵守 ○単次有給休暇・夏季休暇等の確実な取得 ○自身の時間外労務等時間の把握と改善 ○最終退勤時刻(午後8時)の遵守と最小限の休日出勤	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 80%以上の教員が働き方改革を意欲して働いていると回答 3 80%～90%未満の教員が働き方改革を意欲して働いていると回答 2 70%～80%未満の教員が働き方改革を意欲して働いていると回答 1 70%未満の教員が働き方改革を意欲して働いていると回答					

学校教育目標	○ 助け合う子 ◎ 考える子【重点目標】 ○ きたえる子	【目指す学校像】	○児童が、「学びの実感」「協働意識」「心と体の元気」を感じる学校 ○児童が、自己決定しながら「なりたい自分」を目指す学校
		【目指す児童・生徒像】	○学ぶ楽しさを知り、自己調整しながら学ぶ子ども ○他を大切にし、しなやかに、共に伸びようとする子ども ○心と体に關心をもち、たくましく生きようとする子ども ○「なりたい自分」を目指し、自己決定ができる子ども
		【目指す教師像】	○温かな教育をする教師 ○子どもを信じ、子どもの思いを大切にしている教師 ○共成小の教育に貢献する教師 ○マネジメントできる教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策		
確かな学力	校内研究を核に、児童が自律的に学びを進め、「学ぶ楽しさ」を実感できる授業づくりを目指す。	児童の自己調整しながら学びを進める力の向上	・1時間や単元の見通し ・振り返りの視点の明確化 ・「問い」をもたせる。 ・「やってみたい」意欲付け	4 全教員が具体策を意識した指導を行った。	4	90%以上の児童がすすんで授業に臨んでいると回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	3	80%～90%未満の児童がすすんで授業に臨んでいると回答							
				2 70%～80%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	2	70%～80%未満の児童がすすんで授業に臨んでいると回答							
				1 70%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	1	70%未満の児童がすすんで授業に臨んでいると回答							
		「自己選択・自己決定」で児童の学習意欲向上	・自己選択の場の設定 ・自己決定の成功体験 ・学びの主体を児童に ・新たなチャレンジ	4 全教員が具体策を意識した指導を行った。	4	90%以上の児童が自分で決めて学習すると楽しいと回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	3	80～90%の児童が自分で決めて学習すると楽しいと回答							
				2 70%～80%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	2	70～80%の児童が自分で決めて学習すると楽しいと回答							
		「協働的な学び」の充実で学びの自覚へ	・探究的な学習活動 ・必然性のある話合い ・説明する場を頻繁に ・協働する場の設定	4 全教員が具体策を意識した指導を行った。	4	90%以上の児童が友達と一緒に学習すると楽しいと回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	3	80～90%の児童が友達と一緒に学習すると楽しいと回答							
	2 70%～80%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。		2	70～80%の児童が友達と一緒に学習すると楽しいと回答									
豊かな心	児童が自尊感情をもち、「安心基地(安心な環境)」の中で、自他を大切にしながら協働できる学校を創る。	チーム学年担任制を生かした全児童にとっての「安心基地・居場所」づくり	・相談しやすい環境 ・児童の行動の背景理解 ・ヒヤリ・ハットを逃さない ・情報共有で密な連携	4 全教員が具体策を意識した指導を行った。	4	90%以上の児童が学校で安心して生活できていると回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	3	80～90%の児童が学校で安心して生活できていると回答							
				2 70%～80%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	2	70～80%の児童が学校で安心して生活できていると回答							
				1 70%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	1	70%未満の児童が学校で安心して生活できていると回答							
		互いに認め合い、自他を尊重する人権感覚の醸成「心の太陽」を輝かせる	・友達の良いところ探し ・感謝を伝え合う関係作り ・全教育活動で道徳教育 ・優しい言葉の浸透	4 全教員が具体策を意識した指導を行った。	4	90%以上の児童が自分もほかの人も大切にしていると回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	3	80～90%の児童が自分もほかの人も大切にしていると回答							
				2 70%～80%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	2	70～80%の児童が自分もほかの人も大切にしていると回答							
		他者とつながり、協働する喜びの実感	・挨拶・アイコンタクト ・関わる楽しさの実感 ・児童会活動での一体感 ・共に創る喜びや達成感	4 全教員が具体策を意識した指導を行った。	4	90%以上の児童がみんなと一緒に活動することが楽しいと回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	3	80～90%の児童がみんなと一緒に活動することが楽しいと回答							
	2 70%～80%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。		2	70～80%の児童がみんなと一緒に活動することが楽しいと回答									
健やかな体	児童が自分の「心と体の元気」を感じながら、体力向上と心身の健康について考え、実践する態度を育む。	運動する楽しさの実感と日常的な運動遊びの充実と体育授業改善	・外遊びの充実 ・体育授業の内容充実 ・デジタル元気アップガイドブック活用による体づくり	4 全教員が具体策を意識した指導を行った。	4	90%以上の児童が体を動かして運動することは楽しいと回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	3	80～90%の児童が体を動かして運動することは楽しいと回答							
				2 70%～80%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	2	70～80%の児童が体を動かして運動することは楽しいと回答							
				1 70%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	1	70%未満の児童が体を動かして運動することは楽しいと回答							
		望ましい生活習慣と健康な体をつくるための実践的態度の育成。	・児童自身の意識向上 ・家庭と連携したGM60分 ・食育と安全指導の充実 ・児童の危険回避能力向上	4 全教員が具体策を意識した指導を行った。	4	90%以上の児童が健康に生活できるよう心掛けていると回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	3	80～90%の児童が健康に生活できるよう心掛けていると回答							
				2 70%～80%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	2	70～80%の児童が健康に生活できるよう心掛けていると回答							
		自分の良さの自覚と自尊感情の向上	・ハピネス・マインドの浸透 ・心のもち方指導 ・前向きな言葉かけ ・自尊感情の向上	4 全教員が具体策を意識した指導を行った。	4	90%以上の児童が自分には良いところがあると思うと回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	3	80～90%の児童が自分には良いところがあると思うと回答							
	2 70%～80%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。		2	70～80%の児童が自分には良いところがあると思うと回答									
輝く未来	認め合いのある温かな集団の中で、児童が自己の良さを実感し、自己決定しながら、「なりたい自分」を目指す学校を創る。	児童が主体性に学校や学級をよりよくしようとする力の育成	・50周年を盛り上げている実感 ・一人一人の活躍の場 ・学級会活動の充実 ・児童が本気で取り組む行事	4 全教員が具体策を意識した指導を行った。	4	90%以上の児童が学校や学級の一人という気持ちがあると回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	3	80～90%の児童が学校や学級の一人という気持ちがあると回答							
				2 70%～80%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	2	70～80%の児童が学校や学級の一人という気持ちがあると回答							
				1 70%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	1	70%未満の児童が学校や学級の一人という気持ちがあると回答							
		温かく、共感的な人間関係に支えられた望ましい学級集団づくり	・規範意識の向上 ・安心して失敗できる風土 ・QU分析を生かした学級経営 ・SGE、SST、PAの活用	4 全教員が具体策を意識した指導を行った。	4	90%以上の児童がクラスは楽しく、居心地が良いと回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	3	80～90%の児童がクラスは楽しく、居心地が良いと回答							
				2 70%～80%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	2	70～80%の児童がクラスは楽しく、居心地が良いと回答							
		ポジティブマインドでチャレンジしようとする意欲の向上	・自己成長の自覚 ・プラス思考の学級風土 ・成功体験の積み上げ ・チャレンジできる環境整備	4 全教員が具体策を意識した指導を行った。	4	90%以上の児童がポジティブマインドで生活できていると回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。	3	80～90%の児童がポジティブマインドで生活できていると回答							
	2 70%～80%未満の教員が具体策を意識した指導を行った。		2	70～80%の児童がポジティブマインドで生活できていると回答									
働き方改革	教員が働きがいを感じ、自己の働き方をマネジメントできる学校を目指す。	・分掌長が見通しをもって学校運営にあたる。 ・定時退勤しやすい職場をつくる。	・1週間の働き方マネジメント ・デジタル活用による効率化 ・1週間の時間外勤務時間10時間以内	4 全教員が具体策を意識して職務にあたった。	4	90%以上の教員がライフワークバランスが取れていると回答							
				3 80%～100%未満の教員が具体策を意識して職務にあたった。	3	80～90%未満の教員がライフワークバランスが取れていると回答							
				2 70%～80%未満の教員が具体策を意識して職務にあたった。	2	70～80%未満の教員がライフワークバランスが取れていると回答							
				1 70%未満の教員が具体策を意識して職務にあたった。	1	70%未満の教員がライフワークバランスが取れていると回答							

学校教育目標	○ よく考える子ども ○ けんこうな子ども ○ すすんで働く子ども ◎ 思いやりのある子ども	【目指す学校像】	職員が組織的に協働して、児童が主体的に活動し、生涯学習の基礎を確実に身に付け、家庭・地域の信託に応える学校
		【目指す児童・生徒像】	未来の創り手として、自ら考え、創造力・表現力に富み、互いを尊重し人の為に尽くす、心身共に健康で活力に満ちた子供
		【目指す教師像】	児童・保護者・地域の願いを受け止め、熱い心と志を持ち、変革に臆することなく、使命と役割を遂行し、結果に責任を持つ教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	自律的に学びに向かい、創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く子の育成	主体的に学びに向かう力の涵養とともに、学習習慣の確立	「学びのすすめ」「自主学习ノート」「寺子屋」の推進等、授業と家庭学習との連携強化	4 寺子屋…実施回数90%以上 3 寺子屋…実施回数80%以上 2 寺子屋…実施回数70%以上 1 寺子屋…実施回数70%未満		4 学年×10分の家庭学習…90%以上 3 学年×10分の家庭学習…80%以上 2 学年×10分の家庭学習…70%以上 1 学年×10分の家庭学習…70%未満					
			UDやICT、授業スタイルやノートの統一、板書や発問の工夫等、効果的な学習指導	4 教科でのICT活用…90%以上の授業 3 教科でのICT活用…80%以上の授業 2 教科でのICT活用…70%以上の授業 1 教科でのICT活用…70%未満の授業		4 診断シート平均正答率…70%以上 3 診断シート平均正答率…60%未満 2 診断シート平均正答率…50%未満 1 診断シート平均正答率…40%以上					
			「探究ノート」を活用した課題解決等、自ら考え判断し表現する学習と深い学びの重視	4 探究ノートの活用…年20回以上 3 探究ノートの活用…年10回以上 2 探究ノートの活用…年5回以上 1 探究ノートの活用…年5回未満		4 主体的に課題解決…90%以上 3 主体的に課題解決…80%以上 2 主体的に課題解決…70%以上 1 主体的に課題解決…70%未満					
豊かな心	認知機能を高め、自分も他の人も尊重し、敬意をもって大切にできる心豊かな子の育成	個性を生かし、相互の信頼関係を深め、自己有用感の醸成	「h-QU」の結果を生かした児童集会や縦割り班活動等、異年齢集団の活動の推進	4 異学年活動…実施率90%以上 3 異学年活動…実施率80%以上 2 異学年活動…実施率70%以上 1 異学年活動…実施率70%未満		4 社会通念上のいじめ…0~5件 3 社会通念上のいじめ…6~15件 2 社会通念上のいじめ…16~30件 1 社会通念上のいじめ…31件以上					
			「コグトレ」や学級活動の工夫による認知機能や感情統制、やり抜く力等の重視	4 コグトレ…実施率90%以上 3 コグトレ…実施率80%以上 2 コグトレ…実施率70%以上 1 コグトレ…実施率70%未満		4 認知機能の向上…90%以上の児童 3 認知機能の向上…90%以上の児童 2 認知機能の向上…70%以上の児童 1 認知機能の向上…70%未満の児童					
			問題解決的あるいは体験を通じた発問構成の工夫、広い視野で考え議論する道徳	4 考え議論する道徳…実施率90%以上 3 考え議論する道徳…実施率80%以上 2 考え議論する道徳…実施率70%以上 1 考え議論する道徳…実施率70%未満		4 自分事として考える…80%以上の児童 3 自分事として考える…70%以上の児童 2 自分事として考える…60%以上の児童 1 自分事として考える…60%未満の児童					
健やかな体	基本的な生活習慣を身に付け、運動に親しみ、心身共に健康で活力に満ちた子の育成	新しい生活様式と、健康教育・食育推進を改善、充実、徹底させる。	「グッドモーニング60分」等、新しい生活様式の定着と、食育の計画的な推進・充実	4 グッドモーニングの取組…90%以上の児童 3 グッドモーニングの取組…80%以上の児童 2 グッドモーニングの取組…70%以上の児童 1 グッドモーニングの取組…70%未満の児童		4 病欠児童…1日の平均0~3人 3 病欠児童…1日の平均4~7人 2 病欠児童…1日の平均8~11人 1 病欠児童…1日の平均12人以上					
			「元気アップがイブック」を活用した運動習慣につながる授業の工夫、家庭との連携協力	4 元気アップの取組…18項目以上 3 元気アップの取組…14項目以上 2 元気アップの取組…10項目以上 1 元気アップの取組…10項目未満		4 運動することが楽しい…90%以上の児童 3 運動することが楽しい…80%以上の児童 2 運動することが楽しい…70%以上の児童 1 運動することが楽しい…70%未満の児童					
			スマイルの活用の他、全学年で「SOSカード」を活用した多様な対処方法を推進	4 学級外の児童支援…90%以上の教員 3 学級外の児童支援…80%以上の教員 2 学級外の児童支援…70%以上の教員 1 学級外の児童支援…70%以上の未満		4 大人に相談できる…90%以上の児童 3 大人に相談できる…80%以上の児童 2 大人に相談できる…70%以上の児童 1 大人に相談できる…70%未満の児童					
輝く未来	未知の課題を思索し、新たな価値観や行動を生み出し、協働して未来を創造する子の育成	言語能力とともに、未知の課題に向き合い思索する力の育成	学校図書館に学習・情報センター機能をもたせ、全教育課程で言語活動を充実	4 図書館機能を活用…全学級月4回以上 3 図書館機能を活用…全学級月3回 2 図書館機能を活用…全学級月2回 1 図書館機能を活用…全学級月1回以下		4 言語能力向上…80%以上の児童 3 言語能力向上…70%以上の児童 2 言語能力向上…60%以上の児童 1 言語能力向上…60%未満の児童					
			情報活用能力とともに、新たな解を創造する力の醸成	1人1台の端末やオンラインの活用など、見方・考え方を働かせながら思索する場の充実	4 タブレットの活用…全学級週10回以上 3 タブレットの活用…全学級週6~9回 2 タブレットの活用…全学級週3~5回 1 タブレットの活用…全学級週3回未満		4 論理的思考力向上…80%以上の児童 3 論理的思考力向上…70%以上の児童 2 論理的思考力向上…60%以上の児童 1 論理的思考力向上…60%未満の児童				
			教科横断的に6年間を見通した教育課程全体を往還させる。	調べ学習コンクール参加等、家庭や地域と連携・協働した自己実現への手立ての充実	4 全教科で課題解決学習…100%の学級 3 全教科で課題解決学習…90%以上の学級 2 全教科で課題解決学習…80%以上の学級 1 全教科で課題解決学習…80%未満の学級		4 主体的に探究…80%以上の児童 3 主体的に探究…70%以上の児童 2 主体的に探究…60%以上の児童 1 主体的に探究…60%未満の児童				
働き方改革	野球型からサッカー型の職務行動へ変革し、個が自律した組織とする	全職員が、働き方改革の意義を理解し、確実に実行する。	教育DX等の推進による打ち合わせや会議、情報共有等の時間を削減	4 残業30時間以内…100%の教員 3 残業30時間以内…90%の教員 2 残業30時間以内…80%の教員 1 残業30時間以内…70%の教員		4 児童と向き合う時間増…100%の教員 3 児童と向き合う時間増…90%の教員 2 児童と向き合う時間増…80%の教員 1 児童と向き合う時間増…70%の教員					

学校教育目標	○しっかり考える子(問題解決力) ○心やさしい子(人間関係形成力) ○つよく元気な子(体力・活力)	【目指す学校像】	○つながりを大切にし、学校・保護者・地域、みんなでつくる笑顔あふれる武蔵野小学校
		【目指す児童・生徒像】	○児童が主体的に自から考え、判断し、行動できる子。相手の気持ちを考え、人とのかわりを大切にできる子。自分の心と体に關心をもち、自らの心身の健康管理や体力の向上を図れる子。
		【目指す教師像】	○子供たちに身に付けさせるべき知識や技能・態度を確実に定着させ、担任だけでなく、学校全体で子供たちを指導していき、大人も子供もウェルビーイングを目指す。

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	○基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指す。	○身に付けるべき知識や技能・態度や習慣を明確にし、確実に定着させることで、子供たちの学びを支える基盤づくりを行う。 ○タブレットの入れ替えを受け、ICTを活用した授業を充実させ、児童の「情報活用能力」の育成を図る。 ○教科担任制の実施や専科教員との連携を図った指導及び、教員間の相互研鑽の充実を図り学校全体で子供たちを指導していく環境づくりを行う。	○単元テスト算教科の平均(知・思)70点以上を目指す。 ○年度末実施の学力調査において目標値に達する結果を残す。 ○各学年で昭島市から示されている「子供たちに身に付けさせたいICT操作能力」を把握し、資質能力の育成を目指す。 ○教科担任制や授業交換を実施。また、定期的に教員間の相互研鑽に励む。	4 全教員が指導改善を図る。	4 定期テストの平均が70点を上回っている学級が11学級以上	3 80%～100%未満の教員が指導改善を図る。 2 70%～80%未満の教員が指導改善を図る。 1 70%未満の教員が指導改善を図る。 4 全教員が教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。 3 80%～100%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。 2 70%～80%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。 1 70%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。 4 全学年で授業交換等を実施、月3回以上相互研鑽の場を設定する。 3 全学年で授業交換等を実施、月2回程度相互研鑽の場を設定する。 2 全学年で授業交換等を実施、月1回程度相互研鑽の場を設定する。 1 全学年で授業交換等を実施、学期1回程度相互研鑽の場を設定する。	4 定期テストの平均が70点を上回っている学級が8～10学級以上	2 定期テストの平均が70点を上回っている学級が5～7学級以上 1 定期テストの平均が70点を上回っている学級が4学級以下 4 90%以上の児童がICT操作能力を身に付けている。 3 80%～90%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。 2 70%～80%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。 1 70%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。 4 全学年で授業交換等を実施、月3回以上相互研鑽を行った。 3 全学年で授業交換等を実施、月2回程度、相互研鑽を行った。 2 全学年で授業交換等を実施、月1回程度、相互研鑽を行った。 1 全学年で授業交換等を実施、学期1回程度、相互研鑽を行った。			
				3	3						
				2	2						
				1	1						
				4	4						
				3	3						
				2	2						
				1	1						
				4	4						
				3	3						
2	2										
1	1										
豊かな心	○相手の気持ちを想像し、人との関わりを大切にできる豊かな心を育成する。 ○委員会活動や学級活動、行事などの中で児童が主体となる環境づくりを設定する。	○児童の自己肯定感を高め、常に相手のことを考え行動することができるようにする。 ○特別活動の児童会活動やたてわり班活動等の異学年交流を通して、自己有用感を高める活動を行う。 ○行事での実行委員会の設定や委員会活動での自発的な活動、学級での係活動等、児童主体的な活動を実施する。	○学級の実態に応じた指導し、HQU調査を年2回実施し、結果を分析する。 ○児童主体の活動を行えるよう児童会活動の充実を図ったり、たてわり班での学年交流の充実を図ったりする。 ○たてわり班活動の実施や、中央委員会を要し、児童主体の活動をすべての委員会が実施する。 ○たてわり班活動の実施や児童主体の活動を計画に対して70%程度、実施する。 ○たてわり班活動の実施や児童主体の活動を計画に対して50%程度、実施する。 ○たてわり班活動の実施や児童主体の活動を計画に対して50%未満、実施する。	4 全教員による分析と共有の場を設定する。	4 2回目の結果で12学級以上で学級満足群の向上がみられる。	3 低中高学年による分析と共有の場を設定する。 2 学年間による分析と共有の場を設定する。 1 学級内での分析と共有の場を設定する。 4 全教員が児童の主体性を生かした学習を行った 3 80%～100%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った 2 70%～80%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った 1 70%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った 4 全教員が児童の主体性を生かした学習を行った 3 80%～100%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った 2 70%～80%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った 1 70%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った	3 2回目の結果で9～11学級で学級満足群の向上がみられる。	2 2回目の結果で6～8学級で学級満足群の向上がみられる。 1 2回目の結果で5学級以下で学級満足群の向上がみられる。 4 40%以上の児童がすまいるカードの取組目標を達成している 3 30%～40%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している 2 20%～30%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している 1 20%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している			
				3	3						
				2	2						
				1	1						
				4	4						
				3	3						
				2	2						
				1	1						
				4	4						
				3	3						
2	2										
1	1										
健やかな体	○自分の心と体の健康に關心をもち、基礎的な体力と心身の育成と向上を図る。	○児童体力・運動能力、生活運動習慣の向上に向け、運動の習慣化を図り、体力の向上を推進する。 ○規則正しい生活と健康・安全に留意できる児童の姿を目指す。 ○いじめを許さない心情を育て、いじめの早期発見解決に努める。	○体力向上プロジェクトや短なわや長なわの取組を実施し、運動することの楽しさやよさを味わわせる。 ○毎学期実施する「すまいるカード」の取組の結果を集計し、その結果を集計・分析し、日々の指導改善に努める。 ○年3回の学校生活アンケートからみんながよりよく生活できるようにするためのアンケート項目を設定し、実施する。	4 全教員が計画を活用した指導を行った	4 体力テスト結果が都平均ポイントから+2ポイント以上	3 80%～100%未満の教員が計画を活用した指導を行った 2 70%～80%未満の教員が計画を活用した指導を行った 1 70%未満の教員が計画を活用した指導を行った 4 全教員が計画的な指導を実施した 3 80%から100%未満の教員が計画的に指導した 2 70%から80%の教員が計画的に指導した 1 70%未満の教員が計画的に指導した 4 全教員がいじめの定義に対する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。 3 80%～100%未満の教員がいじめの定義に対する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。 2 70%～80%未満の教員がいじめの定義に対する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。 1 70%未満の教員がいじめの定義に対する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。	3 体力テスト結果が都平均比0～+2ポイント	2 体力テスト結果が都平均比-2ポイント以内 1 体力テスト結果が都平均比-2ポイント以下 4 学校生活アンケート調査の関連項目から90%以上 3 学校生活アンケート調査の関連項目から70%以上 2 学校生活アンケート調査の関連項目から50%以上 1 学校生活アンケート調査の関連項目から30%以上			
				3	3						
				2	2						
				1	1						
				4	4						
				3	3						
				2	2						
				1	1						
				4	4						
				3	3						
2	2										
1	1										
輝く未来	○子供たちが自立し、未未来社会を切り開くための資質能力を身に付け、多様な人との関わりの中でコミュニケーション能力の育成を図る。	○幼保・小中が連携し、児童が安心して進級・進学できるようにする。 ○教育活動を通して外部人材と交流体験できるようにする。	○幼保小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。 ○文化、スポーツ、高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年設定する。	4 全教員が方策を実施した	4 90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。	3 80%～100%未満の教員が方策を実施した 2 70%～80%未満の教員が方策を実施した 1 70%未満の教員が方策を実施した 4 全学年で、外部人材を活用した授業や交流体験を実施した。 3 80%～100%未満の学年で外部人材を活用した授業や交流体験を実施した。 2 70%～80%未満の学年で外部人材を活用した授業や交流体験を実施した。 1 70%未満の学年で外部人材を活用した授業や交流体験を実施した。	3 80%～100%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。	2 70%～80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 1 70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 4 全学年で外部人材を活用した授業を行った。 3 9学級以上で外部人材を活用した授業を行った。 2 6学級以上で外部人材を活用した授業を行った。 1 4学級以上で外部人材を活用した授業を行った。			
				3	3						
				2	2						
				1	1						
				4	4						
				3	3						
				2	2						
				1	1						
				4	4						
				3	3						
2	2										
1	1										
働き方改革	○職員の心身の健康と業務の効率化を図り、働きやすく、協働のできる職場環境を構築する。	○タイムマネジメントを意識した働き方改革を促し業務改善や効率化を推進する。	○会議や分掌業務の効率化を図るため学校評価をし、教員から分掌や教育課程等の検討・改善を進めていく。	4 全教員が7月・12月の学校評価で校務に関する内容を検討した。	4 教員から挙がった検討案・改善案等が全て改善された。	3 80%～100%未満の教員が7月・12月の学校評価で校務に関する内容を検討した。 2 70%～80%未満の教員が7月・12月の学校評価で校務に関する内容を検討した。 1 70%未満の教員が7月・12月の学校評価で校務に関する内容を検討した。	3 教員から挙がった検討案・改善案等が8～9割改善された。	2 教員から挙がった検討案・改善案等が6～7割程度改善された。 1 教員から挙がった検討案・改善案等が5割程度に満たなかった。			
				3	3						
				2	2						
				1	1						

令和8年度

昭島市立玉川小学校

学校経営重点計画(教育推進計画)計画表

学校教育目標	(知)自ら学び考え判断し、協働して問題解決を図る子 (情)自らのよさを見つめ、他者を尊重し、共によりよく生きようとする子 (意)自らすすんで挑戦し、最後までやり遂げる子 (体)自らすすんで心と体をきたえる子	【目指す学校像】	○生涯にわたって学び続け、自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な他者と協働して問題解決を図り、豊かな人生を切り拓き、民主的で持続可能な社会の作り手となる人間を育成する学校
		【目指す児童・生徒像】	○多様な人々と協働して問題解決をするために、主体的に物事に関わる、『チャレンジ精神』を発揮できる子の育成
		【目指す教師像】	○児童一人一人が、「学校は失敗するところ！ 教室は間違えるところ！ 授業は自分たちが主人公！ 誰一人取り残されたい！」と、確信できるように働きかける教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	(知)自ら学び考え判断し、協働して問題解決を図る子 基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、思考力、判断力、表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度を養う。	主体的・対話的で深い学びを実現する授業を工夫し、自らすすんで学習に取り組む児童を育成する。	授業づくりの基本の20項目をまとめた「玉小授業力スタンダード」に基づき、授業改善を行う。	4 「玉小授業力スタンダード」を20項目の5割を達成した教員が60%以上		4 自ら進んで調べたり、考えをまとめたりしている児童が70%以上					
				3 「玉小授業力スタンダード」を20項目中5割を達成した教員が50%以上		3 自ら進んで調べたり、考えをまとめたりしている児童が50%以上					
				2 「玉小授業力スタンダード」を20項目中5割を達成した教員が40%以上		2 自ら進んで調べたり、考えをまとめたりしている児童が30%以上					
				1 「玉小授業力スタンダード」を20項目中5割を達成した教員が40%未満		1 自ら進んで調べたり、考えをまとめたりしている児童が30%未満					
豊かな心	(情)自らのよさを見つめ、他者を尊重し、共によりよく生きようとする子 道徳教育の充実を図り、人権尊重の精神を醸成し、共に認め高め合い、学校は楽しいと実感できる児童の育成を目指す。	道徳的諸価値について、「価値・人間・他者」理解を深め、自己の生き方を見つめ直す道徳科授業の充実を図る。	互いを認め合う道徳授業を行い、思いやりの心をもって行動できる児童を育成する。	4 道徳諸価値を意識して道徳科授業を行っている教員が80%以上		4 友達のことを傷つけることを言ったり、からかたりしない児童が70%以上					
				3 道徳諸価値を意識して道徳科授業を行っている教員が70%以上		3 友達のことを傷つけることを言ったり、からかたりしない児童が50%以上					
				2 道徳諸価値を意識して道徳科授業を行っている教員が60%以上		2 友達のことを傷つけることを言ったり、からかたりしない児童が30%以上					
				1 道徳諸価値を意識して道徳科授業を行っている教員が60%未満		1 友達のことを傷つけることを言ったり、からかたりしない児童が30%未満					
健やかな体	(体)自らすすんで心と体をきたえる子 計画的に体力向上を推進し、心身ともに健康な児童の育成を目指す。	心身ともに健康で、自己管理のできるたくましい児童の育成を目指す。	「グッドモーニング60分」の活用において、「見通し」と「振り返り」を行う。	4 活用で「見通し」と「振り返り」を行った教員が80%以上		4 「グッドモーニング60分」を意識して生活している児童が70%以上					
				3 活用で「見通し」と「振り返り」を行った教員が60%以上		3 「グッドモーニング60分」を意識して生活している児童が60%以上					
				2 活用で「見通し」と「振り返り」を行った教員が40%以上		2 「グッドモーニング60分」を意識して生活している児童が50%以上					
				1 活用で「見通し」と「振り返り」を行った教員が40%未満		1 「グッドモーニング60分」を意識して生活している児童が50%未満					
輝く未来	(意)自らすすんで挑戦し、最後までやり遂げる子 自己有用感を感じる機会を通して、自分には良いところがあると感じる子供を育成するとともに、キャリア教育を推進し、社会貢献力の育成を図る。	「昭島市民科」として、生活科・総合的な学習の時間の年間計画を立て、地域社会に貢献できる児童を育成する。	地域人材を活用した授業を行い、地域と学校が共にWin-winの関係をつくる。	4 地域人材を活用した授業を行った教員が80%以上		4 地域のことが分かり、地域に関心をもつようになったと回答した児童が70%以上					
				3 地域人材を活用した授業を行った教員が60%以上		3 地域のことが分かり、地域に関心をもつようになったと回答した児童が60%以上					
				2 地域人材を活用した授業を行った教員が40%以上		2 地域のことが分かり、地域に関心をもつようになったと回答した児童が50%以上					
				1 地域人材を活用した授業を行った教員が40%未満		1 地域のことが分かり、地域に関心をもつようになったと回答した児童が50%未満					
働き方改革	教職員が働きがいと自らの生活の充実の両立ができる働き方を目指す。	教職員からの服務規律の確保及び、働き方改革を推進する。定時退勤強化月間における残留者を減らす。	月に1回、経営支援主任とコンプライアンス担当から、働き方改革について周知する。	4 定時退勤強化月間の残留者が0%		4 月に40時間以上の時間外勤務を行った教員が0%					
				3 定時退勤強化月間の残留者が20%未満		3 月に40時間以上の時間外勤務を行った教員が10%未満					
				2 定時退勤強化月間の残留者が30%未満		2 月に40時間以上の時間外勤務を行った教員が20%未満					
				1 定時退勤強化月間の残留者が30%以上		1 月に40時間以上の時間外勤務を行った教員が20%以上					

令和8年度

昭島市立中神小学校

学校経営重点計画(教育推進計画)計画表

学校教育目標	◎よく考える子(基礎・基本を身に付け、活用する子供)	【目指す学校像】	○全ての子どもの良さ・可能性を伸ばし、自己肯定感を育てる学校	
	◎心豊かな子(自分も他の人も大切にすること)		【目指す児童・生徒像】	○自己肯定感をもって自己発揮でき、自分や他人の良さが分かり、大切にできる子供
	◎たくましい子(めあてをもって、運動を楽しむ子)		【目指す教師像】	○様々な教育課題に適切に対応し、経営参画意識をもって職層に応じた役割を果たしながらチーム力を高めることができる教師集団

領域	中期経営目標(3年間)	短期経営目標(1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	学力向上と「デジタルを活用したこれからの学び」を推進する	日常の授業の充実を図るため、基礎的な知識・技能の習得を図る授業の在り方を追求する。	幼保小中連携の「基礎・基本一覽表」に沿った知識・技能を確実に身に付けるための授業実践を行う。	4 全教科・領域で実施する。 3 90%以上の教科・領域で実施する。 2 80%以上の教科・領域で実施する。 1 実施した教科・領域が80%未満である。		4 全学年の90%以上が実施できた。 3 全学年の80%以上で実施できた。 2 全学年の70%以上で実施できた。 1 全学年の70%未満しか実施できなかった。					
		「デジタルを活用したこれからの学び」を実現すべく、各教科において問題解決学習を行い、学力向上を図る。	児童が「是非、解決してみたい。」「追究してみたい。」「と感じ、「何を学んでいるか。」「何が身に付いたか。」「を実感できる実践を行う。	4 児童の追究意欲が持続した。 3 児童の追究意欲に向上が見られた。 2 単元の途中まで追究意欲が持続した。 1 問題解決的な学習が実践できなかった。		4 意欲的に授業に参加、追究したと考える児童が80%以上 3 意欲的に授業に参加、追究したと考える児童が70%以上 2 意欲的に授業に参加、追究したと考える児童が60%以上 1 意欲的に授業に参加、追究したと考える児童が60%未満					
		個別最適な学び、協働的な学びを推進するため、児童が意欲的に取り組む授業実践を行う。	学んだことを生かした対話・アウトプットを豊かに取り入れ、個々の知識・技能を活用できるようにする。	4 全学級が取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 8学級以上が取組を行っている。 1 取組を行っている学級が8学級未満である。		4 「学びが深まった。」と感じる児童が80%以上 3 「学びが深まった。」と感じる児童が70%以上 2 「学びが深まった。」と感じる児童が60%以上 1 「学びが深まった。」と感じる児童が60%以上					
豊かな心	児童の自尊感情・自己肯定感の更なる向上を図り、積極的に社会に関わる人材を育成する。	人権尊重の精神に基づき、いじめのない学級、いじめがなく毎日安心して登校できる学校づくりを行う。	様々な個性が認められる学級づくり、気持ちの良い挨拶や言葉掛けを互いに行い、安心感のある学校を児童と共につくる。	4 全学級が取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 取組を行っている学級が10学級未満である。		4 すすんで活動に取り組んだと考える児童が90%以上 3 すすんで活動に取り組んだと考える児童が80%以上 2 すすんで活動に取り組んだと考える児童が70%以上 1 すすんで活動に取り組んだと考える児童が70%未満					
		偏見と差別を許さず、多様性を認め合う人権教育を推進する。	「人権教育プログラム」の趣旨を理解し、それに基づいた研修と実践を推進する。	4 全学級が「人権教育プログラム」に沿った人権教育を実施し、成果が表れた。 3 全学級が「人権教育プログラム」に基づいた人権教育を実施している。 2 12学級以上が「人権教育プログラム」に基づいた人権教育を実施している。 1 「人権教育プログラム」に基づいた人権教育を実施しているのが12学級未満である。		4 人権感覚が高まったと思う児童が90%以上 3 人権感覚が高まったと思う児童が80%以上 2 人権感覚が高まったと思う児童が70%以上 1 人権感覚が高まったと思う児童が70%未満					
		思いやりをもち人やもの・こととの関わりを豊かにする教育を推進する。	言語活動の充実、読書指導の充実を図り、自己肯定感の醸成と豊かな心を生み出す風土を築く。	4 全学級が充実した取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 充実した取組を行っている学級が10学級未満である。		4 すすんで活動に取り組んだと考える児童が90%以上 3 すすんで活動に取り組んだと考える児童が80%以上 2 すすんで活動に取り組んだと考える児童が70%以上 1 すすんで活動に取り組んだと考える児童が70%未満					
健やかな体	総合的な体力向上と日常的な健康教育の重視を図りながら、心身ともに健康な子供を育てる教育	総合的な体力向上と日常的な健康教育の充実を図る。	授業や体育的行事を充実させ、目標をもって自己の体力を向上させる児童を育成する。	4 全学級が充実した取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 充実した取組を行っている学級が10学級未満である。		4 「よく体を動かしている。」児童が80%以上 3 「よく体を動かしている。」児童が70%以上 2 「よく体を動かしている。」児童が60%以上 1 「よく体を動かしている。」児童が60%未満					
		自分の身は自分で守り、困難を乗り越えたくましい心を育む。	体力向上の取組の中で自己の体力を知り、めあてをもって努力する気持ちや危険を回避する能力を養う。	4 全学級が充実した取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 充実した取組を行っている学級が10学級未満である。		4 困難を乗り越えたと思える児童が90%以上 3 困難を乗り越えたと思える児童が80%以上 2 困難を乗り越えたと思える児童が70%以上 1 困難を乗り越えたと思える児童が70%未満					
		心身ともに健康な子供の育成を図る。	体幹を意識した運動や食育指導の取組を通して心身の健康を保つ大切さを理解し、すすんで取り組む。	4 全学級が取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 取組を行っている学級が10学級未満である。		4 すすんで取り組む児童・家庭が90%以上 3 すすんで取り組む児童・家庭が80%以上 2 すすんで取り組む児童・家庭が70%以上 1 すすんで取り組む児童・家庭が70%未満					
輝く未来	世界に目を向け、正解のない問題に立ち向かう力を育成する。	郷土昭島に対する愛着や誇りをもち、積極的に良さを発信する子供を育成する。	地域の素材や人材の活用、伝統文化、自然との関わりから昭島の良さを捉え、積極的に発信できるようにする。	4 全学級が取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 取組を行っている学級が10学級未満である。		4 伝統文化や郷土への愛着を抱いた児童が90%以上 3 伝統文化や郷土への愛着を抱いた児童が80%以上 2 伝統文化や郷土への愛着を抱いた児童が70%以上 1 伝統文化や郷土への愛着を抱いた児童が70%未満					
		未知の事柄や学習に対して自分なりに見通しやめあてをもって取り組んでいける能力を育む。	自分が設定した課題に対して見通しをもって解決し、保護者や地域に発信することができる。	4 全学級が充実した取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 充実した取組を行っている学級が10学級未満である。		4 学んだことを保護者や地域に発信できたと思える児童が90%以上 3 学んだことを保護者や地域に発信できたと思える児童が80%以上 2 学んだことを保護者や地域に発信できたと思える児童が70%以上 1 学んだことを保護者や地域に発信できたと思える児童が70%未満					
		地域や保護者の願いを教育活動に取り入れ、「地域とともにある学校づくり」を推進する。	「地域への参画」を目指して自分なりに関わり方を考え、実行することができる。	4 全教職員が実践している。 3 80%以上の教職員が取組を行っている。 2 60%以上の教職員が取組を行っている。 1 取組を行っている教職員は60%未満である。		4 地域に貢献することができたと感じる児童が90%以上 3 地域に貢献することができたと感じる児童が80%以上 2 地域に貢献することができたと感じる児童が70%以上 1 地域に貢献することができたと感じる児童が70%未満					
働き方改革	児童を取り巻く「学校の力」を強化する。	児童と向き合い、授業改善に力を注げるように業務改善を行う。	業務の計画的、組織的な遂行により、児童に関する業務に向き合えるようにする。	4 全教職員が計画的な業務遂行を行っている。 3 80%以上の教職員が計画的な業務遂行を行っている。 2 60%以上の教職員が計画的な業務遂行を行っている。 1 計画的な業務遂行を行っている教職員は60%未満である。		4 児童に向き合う時間が増えたと感じる教職員が90%以上 3 児童に向き合う時間が増えたと感じる教職員が80%以上 2 児童に向き合う時間が増えたと感じる教職員が70%以上 1 児童に向き合う時間が増えたと感じる教職員が70%未満					

学校教育目標	だれもが笑顔になる学校	ビジョン	【目指す学校像】	○楽しい学びの共同体
			【目指す児童・生徒像】	○自ら学び、表現する子 ○認め合い、協力して行動する子 ○すすんで体を整える子
			【目指す教師像】	○当事者意識をもって学校づくりを行う教師 ○組織で考え、組織で動くことができる教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策		
確かな学力	児童が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら行う、主体的・対話的な学びの実現	教員一人一人が課題意識をもって主体的に取り組む校内研究を充実させ、授業力の向上を図る。	主体的な授業改善を図るために、学期ごとに行う授業観察でお互いに観察し合い、授業の振り返りを行う。	4 90%以上の教員が授業と公開に取り組んだ。		4 児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が95%以上							
					3 85%以上の教員が授業と公開に取り組んだ。		3 児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が90%以上						
					2 80%以上の教員が授業と公開に取り組んだ。		2 児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が85%以上						
					1 80%未満の教員が授業と公開に取り組んだ。		1 児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が85%未満						
		学ぶことの楽しさを実感させる授業を積み重ね、主体的、対話的で深い学びによる学力向上を推進する。	GIGA端末やICTを利用した授業スタイルを確立し、児童自身に課題意識をもたせて対話的な学びを進める。個別最適な学習を展開していく。	4 8割以上の授業でICTを活用するなど、児童主体の個別最適な学習を実践した。		4 児童アンケート「タブレットが勉強の役に立っている」が90%以上肯定的							
					3 7割以上の授業でICTを活用するなど、児童主体の個別最適な学習を実践した。		3 児童アンケート「タブレットが勉強の役に立っている」が80%以上肯定的						
					2 6割以上の授業でICTを活用するなど、児童主体の個別最適な学習を実践した。		2 児童アンケート「タブレットが勉強の役に立っている」が70%以上肯定的						
					1 5割以上の授業でICTを活用するなど、児童主体の個別最適な学習を実践した。		1 児童アンケート「タブレットが勉強の役に立っている」が30%以上肯定的						
		児童の学力を把握し、実態に即した授業改善を行うことで、学力の向上を図る。	授業改善推進プランを活用したり、単元ごとの3観点評価を計画的に行ったりすることで、指導と評価の一体化を意識した授業を実践する。	4 90%以上の教員が計画的に授業の評価に取り組んだ。		4 児童アンケート「授業に対して、すすんで取り組んでいる」が90%以上							
					3 85%以上の教員が計画的に授業の評価に取り組んだ。		3 児童アンケート「授業に対して、すすんで取り組んでいる」が80%以上						
					2 80%以上の教員が計画的に授業の評価に取り組んだ。		2 児童アンケート「授業に対して、すすんで取り組んでいる」が70%以上						
					1 70%以上の教員が計画的に授業の評価に取り組んだ。		1 児童アンケート「授業に対して、すすんで取り組んでいる」が70%未満						
豊かな心	自分と共に他者を大切にできる態度や、社会の一員であるという自覚と規範意識の育成	自発的に挨拶をする態度を養い、挨拶が自然に通い合う学級、学校をつくる。	教員が範を示したり、児童会を中心とした挨拶運動に取り組ませたりして、挨拶指導の強化を図る。	4 全教職員が日常的に指導した。		4 児童アンケート「自分や友達を大切にしていますか。」が90%以上							
					3 90%以上の教員が日常的に指導した。		3 児童アンケート「自分や友達を大切にしていますか。」が85%以上						
					2 80%以上の教員が日常的に指導した。		2 児童アンケート「自分や友達を大切にしていますか。」が80%以上						
					1 80%未満の教員が日常的に指導した。		1 児童アンケート「自分や友達を大切にしていますか。」が80%未満						
		組織的な道徳教育の推進により、児童一人一人が自らを振り返ることで、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。	道徳教育の全体計画や年間指導計画を見直し、道徳推進教師を中心に、道徳科の授業改善と道徳授業地区公開講座の実施を計画する。	4 90%以上の教員が授業後の振り返りと改善に取り組んだ。		4 児童アンケート「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」が95%以上							
					3 85%以上の教員が授業後の振り返りと改善に取り組んだ。		3 児童アンケート「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」が90%以上						
					2 80%以上の教員が授業後の振り返りと改善に取り組んだ。		2 児童アンケート「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」が85%以上						
					1 80%未満の教員が授業後の振り返りと改善に取り組んだ。		1 児童アンケート「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」が85%未満						
		心の安全を保障する指導体制を確立し、児童一人一人が安心して、過ごすことができる学校にする。	人権教育プログラムやいじめ総合計画に基づいた組織的な取組により、月に1回以上いじめ対策委員会を開く。また、年に3回以上「いじめに関する授業」を実施する。	4 全教職員が3回以上「いじめに関する授業を行った。		4 児童アンケート「学校で落ち着いて安心して生活できていますか。」が90%以上							
					3 90%が3回以上「いじめに関する授業を行った。		3 児童アンケート「学校で落ち着いて安心して生活できていますか。」が85%以上						
					2 80%が3回以上「いじめに関する授業を行った。		2 児童アンケート「学校で落ち着いて安心して生活できていますか。」が80%以上						
					1 80%未満が3回以上「いじめに関する授業を行った。		1 児童アンケート「学校で落ち着いて安心して生活できていますか。」が80%未満						
健やかな体	自ら体を整え、健全な生活を築こうとする児童の育成	児童の実態に基づいた体力の課題を分析し、全校的取組により体力向上を目指す。	昨年度の体力調査の結果分析から、筋持久力と走力、敏捷性に課題があることが分かった。敏捷性の向上をテーマにし、元氣アップガイドブックの運動内容を参考にして、元氣アップタイムを実施する。	4 全校児童が参加した。		4 体力テストの結果で4学年以上が敏捷性で都平均以上							
					3 90%以上の児童が参加した。		3 体力テストの結果で3学年以上が敏捷性で都平均以上						
					2 80%以上の児童が参加した。		2 体力テストの結果で2学年以上が敏捷性で都平均以上						
					1 70%以上の児童が参加した。		1 体力テストの結果で2学年未満が敏捷性で都平均以上						
		基本的な生活習慣を定着させ、児童の健康意識の向上と日常的な行動を促す。	元氣アップガイドブックや保健便り、給食便りを活用して生活リズムカード(グッドモーニング60)に取り組む、児童が自身の生活の振り返りを行う。	4 全学級で記録と振り返りを行った。		4 児童アンケート「これまでの自分の生活を振り返り、よりよくなると思う」が95%以上							
					3 90%以上の学級で記録と振り返りを行った。		3 児童アンケート「これまでの自分の生活を振り返り、よりよくなると思う」が90%以上						
					2 80%以上の学級で記録と振り返りを行った。		2 児童アンケート「これまでの自分の生活を振り返り、よりよくなると思う」が85%以上						
					1 70%以上の学級で記録と振り返りを行った。		1 児童アンケート「これまでの自分の生活を振り返り、よりよくなると思う」が85%未満						
		児童の危険予知能力を育成し、危険を回避する能力を向上させる。	安全教育プログラム等を活用した安全指導を日常的に行う。また、事前に十分指導した上で、予告なしの避難訓練を毎月実施する。	4 全教職員が日常的に指導を行った。		4 児童アンケート「安全や健康についての知しきを生活の中で生かしている」が90%以上							
					3 90%以上の教員が日常的に指導した。		3 児童アンケート「安全や健康についての知しきを生活の中で生かしている」が85%以上						
					2 80%以上の教員が日常的に指導した。		2 児童アンケート「安全や健康についての知しきを生活の中で生かしている」が80%以上						
					1 80%未満の教員が日常的に指導した。		1 児童アンケート「安全や健康についての知しきを生活の中で生かしている」が80%未満						
輝く未来	人間関係調整力と自己有用感をもち、積極的に他者と関わろうとする児童の育成	様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら自己実現を図ったり、より良い人間関係を形成したりできるようにする。	児童が自主的に活動できるように、「特別活動 大人の10の流儀」を意識し、学級会を軸とした話し合い活動を充実させる。	4 全教職員が話し合い活動を充実させた。		4 児童アンケート「話し合う時間にすすんで参加している」が95%以上							
					3 90%以上の教員が話し合い活動を充実させた。		3 児童アンケート「話し合う時間にすすんで参加している」が90%以上						
					2 80%以上の教員が話し合い活動を充実させた。		2 児童アンケート「話し合う時間にすすんで参加している」が80%以上						
					1 70%以上の教員が話し合い活動を充実させた。		1 児童アンケート「話し合う時間にすすんで参加している」が80%未満						
		児童と教職員とが知恵を出し、工夫した学校行事を生み出し、児童に達成感や連帯感、自己有用感をもたせる。	児童会や実行委員会活動を活性化し、児童が主体的に取り組めるスポーツ及びアートフェスティバル、周年行事の計画を立て、実施する。	4 90%以上の児童が楽しく参加した。		4 児童アンケート「行事の満足度」が90%以上							
					3 80%以上の児童が楽しく参加した。		3 児童アンケート「行事の満足度」が80%以上						
					2 70%以上の児童が楽しく参加した。		2 児童アンケート「行事の満足度」が70%以上						
					1 60%以上の児童が楽しく参加した。		1 児童アンケート「行事の満足度」が60%未満						
		体験的な学習を意図的に計画し、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えさせる。	ゲストティーチャーや出前授業等、人と関わる体験的活動を計画的に実施する。また、コミュニティスクールの利点を生かし、地域の学習材を各学年で活用する。	4 全学年が体験的活動を実施した。		4 児童アンケート「学校の授業は分かりやすい」が98%以上							
					3 5つの学年が体験的活動を実施した。		3 児童アンケート「学校の授業は分かりやすい」が95%以上						
					2 4つの学年が体験的活動を実施した。		2 児童アンケート「学校の授業は分かりやすい」が90%以上						
					1 3つの学年が体験的活動を実施した。		1 児童アンケート「学校の授業は分かりやすい」が90%未満						
働き方改革	教職員の業務量の適正化と健康確保を図り、時間外在校等時間の縮減と教育の質の向上を両立する持続可能な学校運営体制を確立する。	時間外在校等時間の上限を意識した業務改善を進め、月45時間超の教職員の着実な減少を図る。	教職員の勤務時間を把握し時間外在校等時間の状況を共有するとともに、会議や校務の精選・効率化を進める。また、定時退勤日の実施を徹底し、時間外在校等時間の縮減につなげる。	4 定時退勤日の教員実施率が80%以上。		4 時間外在校等時間(月平均)が4月と比べて-5時間以上。							
					3 定時退勤日の教員実施率が65%以上。		3 時間外在校等時間(月平均)が4月と比べて短縮。						
					2 定時退勤日の教員実施率が50%以上。		2 時間外在校等時間(月平均)が4月と比べて変化なし。						
					1 定時退勤日の教員実施率が50%以下。		1 時間外在校等時間(月平均)が4月と比べて増加。						

学校教育目標	◎すすんでする子 ○健康な子 ○考える子 ○協力する子	【目指す学校像】	子供一人一人の『幸せ(ウェルビーイング)』を具現化する学校+教職員一人一人の『働きがい』を具現化する学校
		【目指す児童・生徒像】	どの共同体でも力を発揮できる子(2030/2040年の日本を生きる子供たちへ) cfエージェンシー(社会を変革する力)の育成
		【目指す教師像】	子供の幸せを念頭に、教育者としての熱意とスキルを併せ持つ教師

R8 重点項目 ※赤字は新規内容

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	主体的な学びの推進を通して、児童・教師が「光華遊学」の成果を実感する	対話力の向上	①対話を取り入れた授業づくり ②ホワイトボードミーティングの導入	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:90%以上の児童が話合って学ぶことは楽しいと回答 3:80%以上の児童が話合って学ぶことは楽しいと回答 2:70%以上の児童が話合って学ぶことは楽しいと回答 1:60%以上の児童が話合って学ぶことは楽しいと回答		昭島市アンケート・学校アンケートから評価				
		問題解決型学習(PBL)の推進	①PBLの推進 ②ファシリテーションを意識した授業づくり	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:90%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答 3:80%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答 2:70%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答 1:60%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答						
		教育DXの推進	①教師自身のスキル向上 ②児童の情報活用能力向上	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:90%以上の児童がタブレットに役に立つと回答 3:80%以上の児童がタブレットに役に立つと回答 2:70%以上の児童がタブレットに役に立つと回答 1:60%以上の児童がタブレットに役に立つと回答						
豊かな心	多様な見方・考え方を受け入れたり、自ら楽しさ(ワクワク・ドキドキ)を見い出す心のクセを身に付ける	多様性を認め合う心の醸成	①多様な意見や考え方を受け入れる機会の充実 ②意見や考えを出せる安心感の醸成	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:90%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 3:80%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 2:70%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 1:60%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答		昭島市アンケートから評価				
		感性を豊かにする教育の充実	①感性や体験活動を重視した教育の充実 ②読書活動の充実	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:90%以上の児童が「本や音楽や図工、自然が好きです」と回答 3:80%以上の児童が「本や音楽や図工、自然が好きです」と回答 2:70%以上の児童が「本や音楽や図工、自然が好きです」と回答 1:60%以上の児童が「本や音楽や図工、自然が好きです」と回答			学校アンケートから評価			
		特別支援教育の充実	①特別支援教育の充実(スキル活用、連携含む) ②児童への理解啓発	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:90%以上の児童がいろいろな人がいてよい、と回答 3:80%以上の児童がいろいろな人がいてよい、と回答 2:70%以上の児童がいろいろな人がいてよい、と回答 1:60%以上の児童がいろいろな人がいてよい、と回答						
健やかな体	自らの健康を保持・増進する生活習慣の定着	体を動かす喜びの実感(「遊び」の重視)	①体育の授業改善 ②元気アップガイドブック(デジタル版)の活用	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:90%以上の児童が「学校で遊んだり体を動かしている」と回答 3:80%以上の児童が「学校で遊んだり体を動かしている」と回答 2:70%以上の児童が「学校で遊んだり体を動かしている」と回答 1:60%以上の児童が「学校で遊んだり体を動かしている」と回答		昭島市アンケートから評価				
		生活習慣の改善	①GM60の推進 ②食育の推進	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:90%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答 3:80%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答 2:70%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答 1:60%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答						
		自他の「性・生命」の尊重	①いじめ防止の推進 ②命を大切にす教育(包括的性教育)の推進	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:90%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答 3:80%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答 2:70%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答 1:60%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答						
輝く未来	agencyの獲得 ※最重要目標	「まず、やってみる！」精神の浸透	①まずやってみる習慣の形成 ②周囲に役立つ喜びの重視	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:90%以上の児童が「やってみることを大切にしている」と回答 3:80%以上の児童が「やってみることを大切にしている」と回答 2:70%以上の児童が「やってみることを大切にしている」と回答 1:60%以上の児童が「やってみることを大切にしている」と回答		学校アンケートから評価(参考:hyper QU結果)				
		他者や地域と「つながる」喜びの実感	①外部人材の活用 ②目的を明確にした各行事の充実	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:90%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答 3:80%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答 2:70%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答 1:60%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答						
		自己理解力の向上	①「心をとめる」指導の充実 ②「振り返り」活動の重視	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:90%以上の児童が「心をとめることを大切にしている」と回答 3:80%以上の児童が「心をとめることを大切にしている」と回答 2:70%以上の児童が「心をとめることを大切にしている」と回答 1:60%以上の児童が「心をとめることを大切にしている」と回答						
働き方改革	働きがいと業務の効率化が共存する職場をめざす	教員のストレスチェック「仕事の負担度」の値70以下を目指す	①協力し合える職場であることを心がけた ②業務の効率化を心がけた	4:2項目に取り組み成果を上げた 3:2項目に取り組みむことができた 2:1項目は取り組みむことができた 1:全く取り組めなかった		4:「仕事の負担度」の値70以下 3:「仕事の負担度」の値80以下 2:「仕事の負担度」の値90以下 1:「仕事の負担度」の値100以下		教員ストレスチェック「仕事の負担度」から評価				

学校教育目標	○進んで学ぶ子 ○心豊かな子 ○たくましい子	ビジョン	【目指す学校像】	○人権意識をもって教育活動を進める学校 ○楽しく教育活動を進める活力ある学校 ○学校、保護者、地域が信頼関係の下、教育活動を進める学校
			【目指す児童・生徒像】	○主体的に学習に取り組む子ども ○互いを認め、協力し合う子ども ○心身を鍛え正しい行動をする子ども
			【目指す教師像】	○チームワークよく職務に当たる教員 ○サービスを遵守する教員 ○効率よく業務を行い、活力のある教員

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	・学びの基盤となる力の定着させる。 ・一人一台端末の活用を中心に個別最適な学びと協働的な学びを一体的な充実に係る授業改善を進める。	家庭学習の習慣を付ける。	全学年において独自学力テストを実施し、ドリルパークを中心とした家庭学習に活かす。	4	ドリルパークの家庭学習週3回以上実施	4	「家庭学習の習慣」肯定的な意見75%以上				
				3	ドリルパークの家庭学習週2回程度実施	3	「家庭学習の習慣」肯定的な意見70%以上				
				2	ドリルパークの家庭学習週1回程度実施	2	「家庭学習の習慣」肯定的な意見64%以上				
				1	ドリルパークの家庭学習週1回未満	1	「家庭学習の習慣」肯定的な意見64%未満				
	ミライシードを活用した授業実践事例を積み上げていく。	基本的な使用方法の研修を実施するとともに、2学期の授業観察のテーマとする。	4	ミライシードを活用した授業実践事例を6事例以上	4	全国学力学習状況調査都平均以上					
			3	ミライシードを活用した授業実践事例を4事例以上	3	全国学力学習状況調査全国平均程度					
			2	ミライシードを活用した授業実践事例を3事例以上	2	全国学力学習状況調査市平均以上					
			1	ミライシードを活用した授業実践事例を3事例未満	1	全国学力学習状況調査市平均未満					
豊かな心	・親和性の高い学級集団をつくる。 ・日常のいじめ対応が適切に実施されるようにする。	学校生活満足度調査における親和的な学級を増やす。	調査の分析を踏まえた学級活動を進める。	4	調査分析を踏まえた計画を立てた学級100%	4	「親和的な学級」30%以上				
				3	調査分析を踏まえた計画を立てた学級75%以上	3	「親和的な学級」20%以上				
				2	調査分析を踏まえた計画を立てた学級50%以上	2	「親和的な学級」10%以上				
				1	調査分析を踏まえた計画を立てた学級50%未満	1	「親和的な学級」10%未満				
	法令等で定められいじめ対策を確実に実施する。	学校いじめ対策委員会においていじめ対応の改善について協議する。	4	10月ふれあい月間いじめチェックシート以上の取組を実施	4	社会通念上のいじめ前年度から減少					
			3	11月ふれあい月間いじめチェックシート100%達成	3	社会通念上のいじめ前年比程度					
			2	11月ふれあい月間いじめチェックシート80%以上達成	2	いじめの重大事態0					
			1	11月ふれあい月間いじめチェックシート80%未満	1	いじめの重大事態発生					
健やかな体	・望ましい生活習慣を確立する。	グッドモーニング60分を日常化する。	配布物や個人面談にて啓発を図るとともに取組週間を設けて習慣化できるようにする。	4	グッドモーニング60分週間年間3回	4	「同じくらのじかんに起きているか」75%以上				
				3	グッドモーニング60分週間年間2回	3	「同じくらのじかんに起きているか」70%以上				
				2	グッドモーニング60分週間年間1回	2	「同じくらのじかんに起きているか」65%以上				
				1	グッドモーニング60分週間未実施	1	「同じくらのじかんに起きているか」65%未満				
輝く未来	・自分と社会との関わりについて考え、自らの生き方を主体的に選択できるようにする。	「本物体験」に係る授業を積極的に実施する。	昨年度実施の授業に加え、必要に応じて新たな授業を実施する。	4	中・高学年が2回実施以上	4	「自分の将来について考えることがありますか」肯定90%以上				
				3	中・高学年は2回実施	3	「自分の将来について考えることがありますか」肯定85%以上				
				2	各学年年間1回実施	2	「自分の将来について考えることがありますか」肯定79%以上				
				1	取り組めない学年あり	1	「自分の将来について考えることがありますか」肯定79%未満				
働き方改革	心身ともに健康な教員集団をつくる。	月の平均時間外在校等時間を減らす。	業務のさらなる精選と効率化を進める。	4	デジタルを活用した校務改善3事例以上	4	月平均時間外在校等時間30時間以内				
				3	デジタルを活用した校務改善2事例	3	月平均時間外在校等時間40時間以内				
				2	デジタルを活用した校務改善1事例	2	月平均時間外在校等時間45時間以内				
				1	デジタルを活用した校務改善未実施	1	月平均時間外在校等時間45時間以上				
	教員にやりがい感をもたせる	教員の「やりがい感」を向上させる。	取組に対し、肯定的なフィードバックを多く行うようにする。	4	職員朝会の肯定的フィードバック週3回以上	4	やりがい感についての肯定80%以上				
				3	職員朝会の肯定的フィードバック週2回程度	3	やりがい感についての肯定60%以上				
				2	職員朝会の肯定的フィードバック週1回程度	2	やりがい感についての肯定40%以上				
				1	職員朝会の肯定的フィードバック週1回未満	1	やりがい感についての肯定40%未満				

令和8年度

昭島市立田中小学校

学校経営重点計画(教育推進計画)計画表

学校教育目標	○よく考える子 ◎思いやりのある子 ○たくましい子	【目指す学校像】	道徳教育を基盤として魅力ある学校をつくる。「今日も充実、明日がたのしみ。『また明日!』」
		【目指す児童・生徒像】	「た・な・か」の子 【 た:たくましい子 な:仲良くする子 か:かしく考える子 の:のびる子 こ:個性豊かな子 】
		【目指す教師像】	「た(Timemanagement=時間管理)・な(Navigator=誘導者・航海士)・か(kindness=思いやり・親切)」を意識し職務を励行する教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎・基本を大切に分かる授業を実践し、主体的・意欲的に学び、基礎的な知識及び技能等を確実に習得させる。	特別支援教育を充実させ、どの子にも分かりやすい授業を実践する。 学年相当の時間(学年×10分)に基づいた家庭学習を推進させる。	昭島市立学校 教育のユニバーサルデザイン(冊子)を活用するとともに、適切な環境づくりをする。 自己の課題克服に向け、グッドライフ調査に取り組み、宿題+自学自習の定着を図る。	4 UDチェック全校実施11回以上		4 児童評価「分かりやすい授業」90%以上					
				3 UDチェック全校実施10回以上		3 児童評価「分かりやすい授業」88%以上					
				2 UDチェック全校実施 9回以上		2 児童評価「分かりやすい授業」86%以上					
				1 UDチェック全校実施 9回未満		1 児童評価「分かりやすい授業」86%未満					
豊かな心	人権意識を高め、自他を尊重する態度を醸成するとともに、集団の一員である自覚、規範意識等を育てる。	児童の道徳性を養う。 教員の人権感覚を高め、児童が安心して生活できるようにする。	道徳科の特質に即した授業を行うとともに、全教育活動を通して道徳教育を推進する。 人権教育プログラムを活用して人権感覚チェックを年3回以上実施する。	4 特質に即した道徳授業を全学級で実施		4 児童評価「思いやりの心で行動」が86%以上					
				3 特質に即した道徳授業を9割の学級で実施		3 児童評価「思いやりの心で行動」が83%以上					
				2 特質に即した道徳授業を8割の学級で実施		2 児童評価「思いやりの心で行動」が80%以上					
				1 特質に即した道徳授業を7割の学級で実施		1 児童評価「思いやりの心で行動」が80%未満					
健やかな体	日常的な運動を通して体力を向上させるとともに、健康で安全な生活のために必要な生活習慣や食習慣を身に付けさせる。	健康で安全な生活のために必要な生活習慣を身に付けさせる。 健康で安全な生活のために必要な食習慣を身に付けさせる。	グッドモーニング60分(GM60分)を推進して健康教育を行う。 望ましい食習慣を身に付けるための給食やお弁当(食育)の日の指導を推進する。	4 健康教育の授業を毎学期・年3回以上実施		4 GM60分達成率が全児童の80%以上					
				3 健康教育の授業を年2回実施		3 GM60分達成率が全児童の77%以上					
				2 健康教育の授業を年1回実施		2 GM60分達成率が全児童の72%以上					
				1 健康教育の授業を未実施		1 GM60分達成率が全児童の72%未満					
輝く未来	地域・家庭との信頼関係を構築するとともに、児童の豊かな人間性や人間関係調整力を高める教育活動を推進する。	将来の夢を児童にもたせる。 学校からの情報発信を積極的に行う。	キャリア・パスポート等を活用し、職業等への理解を深める。 学校便りの発行・メール配信を月1回以上、HPの更新を月3回以上行う。	4 児童評価「将来を考える」85%以上		4 保護者評価「将来を考えさせている」85%以上					
				3 児童評価「将来を考える」83%以上		3 保護者評価「将来を考えさせている」83%以上					
				2 児童評価「将来を考える」80%以上		2 保護者評価「将来を考えさせている」80%以上					
				1 児童評価「将来を考える」80%未満		1 保護者評価「将来を考えさせている」80%未満					
働き方	持続可能な働きやすい職場環境をつくる。	18時30分までの退勤を推進する。	管理職から啓発をこまめに行う。	4 管理職からの啓発を週3回以上		4 18:30までの退勤達成率86%以上					
				3 管理職からの啓発を週2回以上		3 18:30までの退勤達成率83%以上					
				2 管理職からの啓発を週1回以上		2 18:30までの退勤達成率80%以上					
				1 管理職からの啓発を週1回未満		1 18:30までの退勤達成率80%未満					

令和8年度

昭島市立拝島第一小学校

学校経営重点計画(教育推進計画)計画表

学校教育目標	○ やさしく(徳) ○ 強く(体) ○ よく考え(知) 手をつなぐ拝島の子	【目指す学校像】	○ 生き生きと学び、達成感を味わえる学校 ○ 安心して子供を預けられる信頼できる学校 ○ 働きがいのある学校(教職員にとって)
		【目指す児童・生徒像】	○ 心身ともに健康な子 ○ 主体的・対話的で深い学びのできる子 ○ 互いに認め合い高め合う子
		【目指す教師像】	○ 教育公務員としての自覚をもち使命を果たすために、絶えず研究と修養に努め、児童のために誠心誠意職務に励む教師

領域	中期経営目標	短期経営目標(1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を行うとともに、「個別最適な学び」「協力的な学び」の確立を目指し、学ぶことが楽しいと感じる児童の育成を目指す。	教職員一人一人が自己の課題を明確にし、授業力向上に向けた取組	・学習指導要領に示される「主体的・対話的で深い学び」を通して「資質・能力」を身に付けさせることを全教職員が共有し、子供が主体となる「学び」についての授業改善 ・児童の興味関心を高め、本時のめあてを学級で共有して進める主体的な学習・問題解決的、探究的な学習の実施 ・校内で授業を見合い、ミニ協議会を通して指導の工夫について学ぶOJT研修	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
		基礎的・基本的な学力を身に付けるための取り組みの実践	・基礎学力を高める朝学習の内容、取り組みの工夫 ・児童の実態に合った学習スタンダードの見直しと取組の徹底 ・学年に応じた本選びと読書を習慣化できる取組の工夫 ・家庭学習の意を考慮し、児童が自発的に自身の力を高める内容の工夫と習慣付け	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
		一人一人のニーズに応えた特別支援教育の視点を活かした環境整備の充実、困り感のある児童に焦点を当てた授業改善の推進	・習熟度別指導等、個に応じた個別の支援の充実 ・ICT機器の効果的な活用 ・個に応じた指導及びUDを意識した学習展開、学習環境の整備 ・特別支援教室と在籍学級が十分に連携しながら児童の実態に即し、個別の教育支援計画・個別指導計画に沿ったきめ細やかな指導の工夫	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
豊かな心	自分も仲間も大切に、互いのよさ(多様性)を認め合い、相手を思いやる心を育て、楽しい学校生活を実感し、自己の生き方を見つめ高めようとする児童の育成を目指す。	人権教育を通して、自ら考えて振り返り、日常生活に活かし、互いに認め合い、高め合うことのできる実践の工夫	・子供一人一人のもつよさや特徴を的確に捉えた個に応じた指導 ・自己を振り返り、よりよく行動できる児童の育成を目指す道徳授業の工夫 ・命の授業など、生命を大切にしている授業の実践 ・個性を大切にすることの指導を徹底し、互いにかかげがえのない存在であることを理解し合える仲間づくり	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
		いじめの未然防止と早期対応を推進し、問題行動に素早く気付き対応し、安心して通える学校運営の実現	・いじめ対策会議の定期的開催と、現状の把握、未然防止指導、素早い対応の実施 ・生活指導連絡会での情報共有と、素早い対応、報・連・相の徹底 ・SCや関係機関との連携 ・ふわふわ言葉、励まし言葉の日常的な取組など言語環境の整備	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
		人や自然、文化との関わりを通して、本物と出会い自尊心や自己有用感を高める実践への取組	・ゲストティーチャーによる学びの充実 ・本物に触れる実践、体験的活動の充実 ・縦割り班活動における関わりや交流 ・学級活動やクラブ・委員会活動、縦割り活動を充実させ、多様な人との関わりの中で社会性や協調性の育成	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
健やかな体	健康で安全な生活について自ら考え、行動できる児童、また仲間と協力して実践したり、すすんで挑戦しようとする、心身ともに健康でたくましい児童の育成を目指す。	一人一人が自らの体力を知り、自分に合った方法を考え、体力向上を目指すことのできる取組の推進	・自らの体力を知り、あきらめず挑戦し、身体を動かす楽しさを味わえる体育学習の工夫 ・体力運動能力調査の分析と、元気アップガイドブックを活用した具体的な体力向上のための取り組みの推進 ・体育朝会や持久走、縄跳び週間などの取り組みの工夫 ・保健指導、保健学習を充実させ、自分の体について学ぶ機会の充実	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
		健康的な生活習慣について学び、自らの健康について考え、実践することのできる取組	・保健指導、保健学習を充実させ、健康的な生活について学ぶ機会の充実 ・GM60分の取組の充実と日常化 ・ノメディア習慣の取組の充実と日常化 ・食育指導の充実等、健康について考え実践できる活動の工夫	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
		心身ともに健康で、安全に過ごすために、自己について見つけ、生き方についての考えを深め、実践する学習の取組	・安全指導計画・避難訓練計画・交通安全指導計画等に沿って、ねらいを明確に提示し、児童の危機回避能力を育成 ・児童の意識を高め、日々の校内清掃を丁寧に行うことによる清潔で安全な生活環境の持続 ・年11回の安全指導日の学年の実態に即した効果的な指導 ・日常的に安全管理意識をもち、施設設備の安全点検を全教職員で毎月実施	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
輝く未来	自分のよさを見付け、仲間と協力して活動し、苦手なことにも失敗を恐れず取り組み、役に立つ喜びを自信につなげ自己肯定感を高め、未来に向けて夢と希望をもち実現しようとする児童の育成を目指す。	学級活動をはじめ、全教育活動における、キャリア教育の充実	・学級活動・異年齢交流を通して学校生活を仲間と高める活動の充実 ・係活動、委員会活動、クラブ活動、縦割り班活動の自主的な取組の充実 ・児童の自己肯定感、有用感を高める集団づくり ・年間指導計画に応じた、キャリア教育実践の充実(キャリアアルバムを活用)	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
		DXを目指し、ICT機器の適切な活用を工夫と、ネットのかわり方を学び、正しく使えるようにする取組	・タブレット端末の意図的・計画的な活用 ・デジタル教科書や、インターネット等、児童の主体的な活用を促す指導の工夫 ・情報モラル教育やSNSトラブル防止に向けた取組の確実な実施 ・SNS学校ルールの見直しと保護者への周知を行い、適切なデジタルデバイス利用の推進	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
		地域とのかかわりや、持続可能な社会づくりを意識した取組	・地域人材や環境を活用した学習の充実 ・生活科見学、社会科見学、校外学習を通して、地域のよさや結び付きを学ぶ学習の充実 ・幼保連携、伝統文化、自然愛護等を、生活科・総合的な学習の時間に位置付け、実践 ・学校便りや学校ホームページを通して、学校の教育課題や方策等、積極的に保護者や地域に発信	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
働き方	教職員が働きがいを感じる職場環境の整備を目指す。	昭島市「学校の働き方改革の推進に向けた実行プログラム」を基に、本校独自の「働き方改革プラン」を全職員で考え、実践していく。	・業務内容を把握し、効率的な業務の進め方について、運営委員会で検討 ・教材の蓄積と共有 ・保護者との良好な関係を築くための確実な報・連・相と組織での対応 ・互いを尊重し合い、高め合う、良好な職場の人間関係の構築	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身についたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた。		3 80~90%未満の児童が身についたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70~80%未満の児童が身についたと回答							
			1 1項目しか取り組むことができなかった。		1 70%未満の児童が身についたと回答							

学校教育目標	○よく考える子(知) ◎心ゆたかな子(情) ○元気な子(意)(体)	【目指す学校像】	○「子供の成長」を教育活動の中核に置き、連携・協働する学校 ○「チーム」一丸で教育活動を推進する学校
		【目指す児童・生徒像】	○自らの人生(運命)を自らの力で切り拓き、これからの社会の創造を担える児童～グローバルに考え、ローカルに実践する子～
		【目指す教師像】	○「チーム拜二」の一員として、自らすすんで学び、高め合い、協働して職務を遂行する教師 ○子供のよさや可能性を伸ばせる教師集団

領域	中期経営目標(3年間)	短期経営目標(1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	(知) 自ら学び考え判断し、協働して問題を解決することができる児童の育成	日々の授業を充実させ、全国学力・学習状況調査の平均正答率の引き上げを図る。	「授業改善推進プラン」を基に、児童が自身の学びの成果を実感できるように指導する。	4	8割以上の教職員が、「授業改善推進プラン」に基づく指導を行った。	4	「学力調査の平均正答率が国比OP					
				3	7割以上の教職員が、「授業改善推進プラン」に基づく指導を行った。	3	「学力調査の平均正答率が国比-1P					
				2	6割以上の教職員が、「授業改善推進プラン」に基づく指導を行った。	2	「学力調査の平均正答率が国比-2P					
				1	6割未満の教職員が、「授業改善推進プラン」に基づく指導を行った。	1	「学力調査の平均正答率が国比-3P					
				4	8割以上の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。	4	「思考・判断・表現」の評価B以上70%以上					
				3	7割以上の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。	3	「思考・判断・表現」の評価B以上60%以上					
		学んだことを日常生活に生かしたり、自分の周りの社会に役立てたりしようとする児童を育成する。	各教科、特別活動、特別の教科、道徳を中心に、教育活動全体を通して児童が自己分析で課題を設定し、自ら挑戦できる場を設定する。	4	8割以上の教職員が、授業実践における振り返りを行った。	4	「授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童70%以上					
				3	7割以上の教職員が、授業実践における振り返りを行った。	3	「授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童60%以上					
				2	6割以上の教職員が、授業実践における振り返りを行った。	2	「授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童50%以上					
				1	6割未満の教職員が、授業実践における振り返りを行った。	1	「授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童50%未満					
				4	8割以上の教職員が、異学年交流・学級会を行った。	4	「自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童70%以上					
				3	7割以上の教職員が、異学年交流・学級会を行った。	3	「自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童60%以上					
豊かな心	(情) 自らの良さを見つめ、他者を尊重し、共により良く生きようとする児童の育成	不登校児童を減らし、全ての児童が安心して登校できる学校にする。	①不登校アセスメントの実施 ②温かい学級づくりによる不登校の未然防止 ③校内委員会を中心とした学校組織としての対応	4	8割以上の教職員が、不登校対策に取り組んだ。	4	「不登校の出現回数2割減少					
				3	7割以上の教職員が、不登校対策に取り組んだ。	3	「不登校の出現回数1割減少					
				2	6割以上の教職員が、不登校対策に取り組んだ。	2	「不登校の出現回数増減なし					
				1	6割未満の教職員が、不登校対策に取り組んだ。	1	「不登校の出現回数増加					
				4	8割以上の教職員が、異学年交流・学級会を行った。	4	「自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童70%以上					
				3	7割以上の教職員が、異学年交流・学級会を行った。	3	「自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童60%以上					
		学校の決まりを守る風土を創り上げる。	学校の決まりの意味・意義を理解させ、守らせる。	4	8割以上の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。	4	「学校の決まりを守っていると回答する児童70%以上					
				3	7割以上の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。	3	「学校の決まりを守っていると回答する児童60%以上					
				2	6割以上の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。	2	「学校の決まりを守っていると回答する児童50%以上					
				1	6割未満の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。	1	「学校の決まりを守っていると回答する児童50%未満					
				4	8割以上の教職員が、異学年交流・学級会を行った。	4	「自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童70%以上					
				3	7割以上の教職員が、異学年交流・学級会を行った。	3	「自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童60%以上					
健やかな体	(体) 自らすすんで心と体をきたえ、たくましく生きる児童の育成	日々の授業の充実を基に、児童に運動の楽しさを味わわせ、体育が好きな児童を増やす。	体育研修を実施し、体育科の授業の充実を図る。体力向上旬間を設定する。	4	8割以上の教職員が、体育研修を活用した指導を行った。	4	「運動が好きと回答する児童70%以上					
				3	7割以上の教職員が、体育研修を活用した指導を行った。	3	「運動が好きと回答する児童60%以上					
				2	6割以上の教職員が、体育研修を活用した指導を行った。	2	「運動が好きと回答する児童50%以上					
				1	6割未満の教職員が、体育研修を活用した指導を行った。	1	「運動が好きと回答する児童50%未満					
				4	8割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。	4	「体力調査の結果を都平均以上にする。					
				3	7割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。	3	「体力調査の結果を都平均にする。					
		児童の課題に応じた様々な運動に親しませる場を設定し、運動能力の向上を図る。	体力調査の結果に基づき課題分析・解決策の共通理解と共通実践をする。コーディネーションントレーニングを実施する。	4	8割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。	4	「体力調査の結果を-1%にとどめる。					
				3	7割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。	3	「体力調査の結果を-2%にとどめる。					
				2	6割以上の教職員が、生活習慣向上のための取組を行った。	4	「生活改善を実感する児童70%以上					
				1	6割未満の教職員が、生活習慣向上のための取組を行った。	3	「生活改善を実感する児童60%以上					
				4	8割以上の教職員が、探究的な学習の授業実践に取り組んだ。	4	「主体的に学習していると回答する児童70%以上					
				3	7割以上の教職員が、探究的な学習の授業実践に取り組んだ。	3	「主体的に学習していると回答する児童60%以上					
輝く未来	(意) 自らすすんで挑戦し、最後までやり遂げることができる児童の育成	自ら学び、自ら考える力やより良く課題を解決し、自分の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。	総合的な学習の時間や各教科等の授業において、教科横断的・探究的な学習の充実を図る。	4	8割以上の教職員が、探究的な学習の授業実践に取り組んだ。	4	「主体的に学習していると回答する児童70%以上					
				3	7割以上の教職員が、探究的な学習の授業実践に取り組んだ。	3	「主体的に学習していると回答する児童60%以上					
				2	6割以上の教職員が、探究的な学習の授業実践に取り組んだ。	2	「主体的に学習していると回答する児童50%以上					
				1	6割未満の教職員が、探究的な学習の授業実践に取り組んだ。	1	「主体的に学習していると回答する児童50%未満					
				4	8割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。	4	「社会貢献しようとする児童70%以上					
				3	7割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。	3	「社会貢献しようとする児童60%以上					
		●SDGsの達成のために社会を変革する主体者として、家庭生活から変えていこうとする態度を育てる。 ●地域人材を活用し、人との関わりの中で学ぶ機会を充実させる。	●SDGsの達成のために、家庭生活を共に改善しようとする態度を育てる。 ●地域人材を活用し、人との関わりの中で学ぶ機会を充実させる。	4	8割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。	4	「社会貢献しようとする児童70%以上					
				3	7割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。	3	「社会貢献しようとする児童60%以上					
				2	6割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。	2	「社会貢献しようとする児童50%以上					
				1	6割未満の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。	1	「社会貢献しようとする児童50%未満					
				4	8割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。	4	「将来への夢や希望がもてたと回答する児童70%以上					
				3	7割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。	3	「将来への夢や希望がもてたと回答する児童60%以上					
社会の多様な課題への関心・意欲を高め、自らの将来について考える児童を育成する。	昭島市版「キャリアアルバム」を活用して、児童が自らの将来に、夢をもてるように指導する。	4	8割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。	4	「将来への夢や希望がもてたと回答する児童70%以上							
		3	7割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。	3	「将来への夢や希望がもてたと回答する児童60%以上							
		2	6割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。	2	「将来への夢や希望がもてたと回答する児童50%以上							
		1	6割未満の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。	1	「将来への夢や希望がもてたと回答する児童50%未満							
		4	8割以上の教職員が、ICT導入と業務削減による効率化が定着した。	4	「月間平均超過勤務時間が40時間未満となる教職員70%以上							
		3	7割以上の教職員が、ICT導入と業務削減による効率化が定着した。	3	「月間平均超過勤務時間が40時間未満となる教職員60%以上							
働き方改革	○教職員の月間平均在校等時間の15%削減(前年度比) ○業務の完全ペーパーレス化と情報のクラウド化 ○ICTスキルの標準化と知見の共有文化の醸成	○定時退勤日およびICT活用強化月間の設定 ○業務支援システム・チャットツールの日常化 ○校内ワークフローのデジタル移行率50%達成	勤務時間の削減と、業務効率のために、ICT活用促進を図る。	4	8割以上の教職員が、ICT導入と業務削減による効率化が定着した。	4	「月間平均超過勤務時間が40時間未満となる教職員70%以上					
				3	7割以上の教職員が、ICT導入と業務削減による効率化が定着した。	3	「月間平均超過勤務時間が40時間未満となる教職員60%以上					
				2	6割以上の教職員が、ICT導入と業務削減による効率化が定着した。	2	「月間平均超過勤務時間が40時間未満となる教職員50%以上					
				1	6割未満の教職員が、ICT導入と業務削減による効率化が定着した。	1	「月間平均超過勤務時間が40時間未満となる教職員50%未満					

学校教育目標	◎かしく(よく考え 創意工夫する子) ○やさしく(自他を大切にする子) ○つよく(粘り強く 元気な子)	ビジョン	【目指す学校像】	・全ての児童の良さ・可能性を伸ばし、自己肯定感を育てる学校。
			【目指す児童・生徒像】	・自己肯定感をもって自己発揮でき、自他ともに良さが分かり、大切にできる児童。
			【目指す教師像】	・様々な教育課題に適切に対応し、経営参画意識をもち、職層に応じた役割を果たしながらチーム力を高めることができる教師集団

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策		
確かな学力	児童が「分かった、できた」と喜びのある授業の実践により、学力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学び、問題解決学習や探究学習の充実に取り組む。	①単元ごとに問題解決学習や探究学習の徹底 ②授業の振り返りの質の向上 ③「学習スタンダード」の徹底	4	全ての教員が、児童が主体的な授業を行った	4	児童アンケートで「主体的に学習した」が8割以上						
				3	8割以上の教員が、児童が主体的な授業を行った	3	児童アンケートで「主体的に学習した」が7割以上						
				2	7割以上の教員が、児童が主体的な授業を行った	2	児童アンケートで「主体的に学習した」が6割以上						
				1	児童が主体的な授業を行った教員が7割以下であった	1	児童アンケートで「主体的に学習した」が6割未満						
				4	ユニバーサルデザインチェックリストの全てに取り組んだ。	4	児童アンケートで「分かりやすい」が8割以上						
				3	ユニバーサルデザインチェックリストの8割以上に取り組んだ。	3	児童アンケートで「分かりやすい」が7割以上						
		授業のユニバーサルデザイン化を推進し、学習意欲と学力の向上を図る。	①どの児童にも優しい教室環境 ②どの児童にも優しい学習環境 ③どの児童にも分かる授業	4	ユニバーサルデザインチェックリストの7割以上に取り組んだ。	4	児童アンケートで「分かりやすい」が6割以上						
				3	ユニバーサルデザインチェックリストの7割以上に取り組んだ。	3	児童アンケートで「分かりやすい」が6割以上						
				2	ユニバーサルデザインチェックリストの7割以下に取り組んだ。	2	児童アンケートで「分かりやすい」が6割未満						
				1	ユニバーサルデザインチェックリストの7割以下にしか取り組めなかった。	1	児童アンケートで「分かりやすい」が6割未満						
				4	全ての教員が、各学習場面に相応しいICT機器の利用	4	児童アンケートで「有効活用できた」が8割以上						
				3	9割以上の教員が、各学習場面に相応しいICT機器を用いた授業を行った。	3	児童アンケートで「有効活用できた」が7割以上						
豊かな心	児童の自尊感情や自己有用感の向上を図る。	自尊感情の精神に基づき、いじめがない学級、学校づくり。	①「オアシス」の挨拶 ②より良い人間関係を築く言語環境の取り組み(ふわふわ言葉)	4	全学級が取組を行った。	4	すすんで活動に取り組んだと思える児童が8割以上						
				3	17学級以上が取組を行った。	3	すすんで活動に取り組んだと思える児童が7割以上						
				2	15学級以上が取組を行った。	2	すすんで活動に取り組んだと思える児童が6割以上						
				1	13学級以上が取組を行った。	1	すすんで活動に取り組んだと思える児童が6割未満						
				4	全ての教員が、道徳の時間の指導を改善した	4	児童アンケートで「学校が楽しい」が8割以上						
				3	8割以上の教員が、道徳の時間の指導を改善した	3	児童アンケートで「学校が楽しい」が7割以上						
		教育活動全体を通して、道徳的实践力を身に付ける。	①児童が考え議論する道徳授業の実践 ②係・当番活動・たてわり班活動の充実	2	7割以上の教員が、道徳の時間の指導を改善した	2	児童アンケートで「学校が楽しい」が6割以上						
				1	6割以上の教員が、道徳の時間の指導を改善した	1	児童アンケートで「学校が楽しい」が6割未満						
				4	全ての学級が、週1回以上学校図書館を利用した。	4	年間30冊以上の本を借りた児童が8割以上						
				3	8割以上の学級が、週1回以上学校図書館を利用した。	3	年間30冊以上の本を借りた児童が7割以上						
				2	7割以上の学級が、週1回以上学校図書館を利用した。	2	年間30冊以上の本を借りた児童が6割以上						
				1	6割以上の学級が、週1回以上学校図書館を利用した。	1	年間30冊以上の本を借りた児童が6割未満						
健やかな体	総合的な体力の向上と日常的な健康教育の重視を図りながら、心身ともに健康な児童の育成をする。	運動能力テストの結果を基に作成する体力向上プランに基づき、系統的な指導を進める。	①体力向上プラン ②休み時間に外遊びの励行 ③運動週間(うきうきウィーク)の活用	4	全教員が体力向上プランを活用した指導を行った。	4	児童アンケートで「運動が楽しい」が8割以上						
				3	8割以上の教員がプランを活用した指導を行った	3	児童アンケートで「運動が楽しい」が7割以上						
				2	7割以上の教員がプランを活用した指導を行った。	2	児童アンケートで「運動が楽しい」が6割以上						
				1	7割未満の教員がプランを活用した指導を行った。	1	児童アンケートで「運動が楽しい」が6割未満						
				4	全教員が元気アップガイドブックを活用した指導を行った。	4	児童アンケートで「健康な生活を送れた」が8割以上						
				3	8割以上の教員が元気アップガイドブックを活用した指導を行った。	3	児童アンケートで「健康な生活を送れた」が7割以上						
		日常的な運動習慣の確立を図り、健康な生活を旨とする。	①「グッドモーニング60分」の家庭への啓発と学期初めなどの取組	2	7割以上の教員が元気アップガイドブックを活用した指導を行った。	2	児童アンケートで「健康な生活を送れた」が6割以上						
				1	6割以上の教員が元気アップガイドブックを活用した指導を行った。	1	児童アンケートで「健康な生活を送れた」が6割未満						
				4	全ての教員が、安全指導を計画的に行った。	4	保護者による学校評価において肯定的評価が8割以上						
				3	9割以上の教員が、安全指導を計画的に行った。	3	保護者による学校評価において肯定的評価が7割以上						
				2	8割以上の教員が、安全指導を計画的に行った。	2	保護者による学校評価において肯定的評価が6割以上						
				1	7割以上の教員が、安全指導を計画的に行った。	1	保護者による学校評価において肯定的評価が6割未満						
輝く未来	将来を見つめ、社会を担う「たくましい昭島っ子」の育成をする。	学級や学校の課題を見出し、より良く解決するために、話し合って合意形成する力を育む。	①学級会活動(年10回以上) ②良い話し手・聴き手育成に向け、毎時間の話し合い活動の充実	4	全ての学級が、計画的に実施した。	4	児童アンケートで「話し合いが楽しい」が8割以上						
				3	8割以上の学級が、計画的に実施した。	3	児童アンケートで「話し合いが楽しい」が7割以上						
				2	7割以上の学級が、計画的に実施した。	2	児童アンケートで「話し合いが楽しい」が6割以上						
				1	6割以上の学級が、計画的に実施した。	1	児童アンケートで「話し合いが楽しい」が6割未満						
				4	全ての教員が意識して指導に当たった。	4	児童アンケートで「学校行事が楽しかった」が8割以上						
				3	8割以上の教員が、意識して指導に当たった	3	児童アンケートで「学校行事が楽しかった」が7割以上						
		地域など外部人材や文化財を活用したり、保護者や地域と連携した取組を行う。	①学校行事において実行委員会などの活用 ②キャリアパスポートを活用し、自己肯定感を高められる指導	2	7割以上の教員が、意識して指導に当たった	2	児童アンケートで「学校行事が楽しかった」が6割以上						
				1	6割以上の教員が、意識して指導に当たった	1	児童アンケートで「学校行事が楽しかった」が6割未満						
				4	全学級で連携した授業を行った。	4	児童アンケートで「地域と関わって良かった」が8割以上						
				3	8割以上の学級で連携した授業を行った。	3	児童アンケートで「地域と関わって良かった」が7割以上						
				2	7割以上の学級で連携した授業を行った。	2	児童アンケートで「地域と関わって良かった」が6割以上						
				1	6割以上の学級で連携した授業を行った。	1	児童アンケートで「地域と関わって良かった」が6割未満						
働き方改革	ライフワークバランスへの意識向上を図り、教職員の心身の健康保持に努める。	教員の1年当たり年次有給休暇取得日数の増加を目指す。	タブレットやAI等を有効に使い、校務の効率化を図ることで、休暇を取りやすくする。	4	全ての教員に休暇取得日数の増加が見られた。	4	16日以上休暇取得が見られた教職員が9割以上。						
				3	90%の教員に休暇取得日数の増加が見られた。	3	14～16日の休暇取得が見られた教職員8割以上。						
				2	80%の教員に休暇取得日数の増加が見られた。	2	12～14日の休暇取得が見られた教職員7割以上。						
				1	70%の教員に休暇取得日数の増加が見られた。	1	12日未満の休暇取得が見られた教職員7割未満。						

学校教育目標	夢への挑戦 ～ 広げよう可能性 高めよう創造性 ～	【目指す学校像】	(1)知・徳・体をバランスよく育む学校。(2)人間環境・生活環境が整った安心・安全な学校。(3)挨拶や歌声が響く活気ある学校(4)家庭・地域とのつながりを大切にする学校。
		【目指す児童・生徒像】	(1)自ら考え深く学ぶ生徒。(2)自他ともに大切にできる生徒。(3)自分を表現しつつ互いに認め合える生徒。(4)社会性が身につけている生徒。
		【目指す教師像】	(1)豊かな人間性を備え、生徒の範となる教師。(2)生徒と正面から向き合い、信頼される教師。(3)授業力が高い教師。(4)組織の一員として学校運営に貢献できる教師。

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	基礎的・基本的な知識や技能の習得、思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学ぶ態度の育成と学びに向かう力と人間性等を養う。	教師・生徒共に授業規律の維持・向上を図る。	①全授業で昭和中学校授業スタンダードの実践徹底。	4	授業スタンダードによる働きかけを毎時間実施。	4	「楽しくも規律がある授業である」90%以上。					
				3	〃 おおむね実施。	3	〃 ～80%以上。					
				2	〃 半分程度実施。	2	〃 ～70%以上。					
				1	〃 あまりできていない。	1	〃 70%未満。					
		授業での効果的なICT活用を図る。	①様々なアプリケーションを工夫・活用した授業実践。	4	ICTを有効活用する授業を毎時間実施。	4	「授業でICTを有効活用している」90%以上。					
				3	〃 おおむね実施。	3	〃 ～80%以上。					
				2	〃 半分程度実施。	2	〃 ～70%以上。					
				1	〃 あまりできていない。	1	〃 70%未満。					
		自分の考えを他者に伝える力を育む。	①話し合い活動と発表を全授業で実施。	4	対話的な授業を十分実施。	4	「考えを話したり発表したりが十分ある」90%以上。					
				3	〃 おおむね実施。	3	〃 ～80%以上。					
				2	〃 半分程度実施。	2	〃 ～70%以上。					
				1	〃 あまりできていない。	1	〃 70%未満。					
主体的に学習に取り組む態度の育成と家庭学習の定着を図る。	①シラバスの作成。 ②シラバスに基づく定期テスト前の学習方法の確認の実施。	4	シラバスによる家庭学習推進を確実に実施。	4	「学校外の学習時間」平均3時間以上。							
		3	〃 おおむね実施。	3	〃 平均3時間未満～2時間。							
		2	〃 半分程度実施。	2	〃 平均2時間未満～1時間。							
		1	〃 あまりできていない。	1	〃 平均1時間未満。							
豊かな心	全教育活動を通じて、人権教育・心の教育を推進し、自立した人間として、他者とともによりよく生きるための基盤となる豊かな人間性を育む。	全教育活動を通じて互いの認め合いから安心して落ち着いた生活が送れるようにする。	①勇気づけ言葉を活用し、頑張らせ、勇気づけ、ほめる指導の実践。	4	勇気づけ言葉を積極的に活用。	4	「落ち着いて生活できている」90%以上。					
				3	〃 おおむね実施。	3	〃 ～80%以上。					
				2	〃 半分程度実施。	2	〃 ～70%以上。					
				1	〃 あまりできていない。	1	〃 70%未満。					
		考え、議論する道徳授業を実践し、よりよく生きる心を育てる。	①内容項目の理解から議論や発問の工夫。	4	考え、議論する道徳授業を毎回実施。	4	「生活を振り返ってより良くしようと思う」90%以上。					
				3	〃 おおむね実施。	3	〃 ～80%以上。					
				2	〃 半分程度実施。	2	〃 ～70%以上。					
				1	〃 あまりできていない。	1	〃 70%未満。					
		いじめ・SNSトラブルの未然防止に努める。	①安全集会による未然防止の指導の実施。 ②毎月の生活アンケートの実施。	4	いじめへの早期対応を十分に実践。	4	「いじめをしない、見逃さない意識である」90%以上。					
				3	〃 おおむね実施。	3	〃 ～80%以上。					
				2	〃 半分程度実施。	2	〃 ～70%以上。					
				1	〃 あまりできていない。	1	〃 70%未満。					
教育相談と特別支援教育の研修を充実させつつ、個に応じた対応を連携して行う。	①校内委員会の充実。 ②合理的配慮の範囲の整理と共通実践。	4	生徒個々の実態に応じた丁寧な対応を十分に実施。	4	「相談できる大人がいる」90%以上。							
		3	〃 おおむね実施。	3	〃 ～80%以上。							
		2	〃 半分程度実施。	2	〃 ～70%以上。							
		1	〃 あまりできていない。	1	〃 70%未満。							
健やかな体	心身共にたくましく、健やかな生徒の育成を図り、健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。	体育的な活動を効果的に実施し、体力向上と生涯にわたってスポーツに親しむ態度を育成する。	①体力向上に係る個人目標の設定。 ②体育祭等で工夫した活動の推進。	4	積極的な体育活動への参画に向けた指導を十分実施。	4	「体育的行事に積極的に参加している」90%以上。					
				3	〃 おおむね実施。	3	〃 ～80%以上。					
				2	〃 半分程度実施。	2	〃 ～70%以上。					
				1	〃 あまりできていない。	1	〃 70%未満。					
		安全教育・防災教育を推進し安全意識・防災意識の向上を図る。	①安全指導・避難訓練を月に1回ずつ定期実施。 ②セーフティ教室・災害安全講演の実施。	4	計画的・効果的な安全指導を十分に実施。	4	「安全や健康の知識を生かしている」90%以上。					
				3	〃 おおむね実施。	3	〃 ～80%以上。					
				2	〃 半分程度実施。	2	〃 ～70%以上。					
				1	〃 あまりできていない。	1	〃 70%未満。					
輝く未来	学習や生活の基盤として、教師と生徒との信頼関係を築き、生徒一人一人に応じた指導・支援を図る。	3年間の系統だったキャリア教育の実施から、夢や目標に向けて努力する力を養う。	①適切な進路指導計画の作成。 ②計画的で丁寧なキャリア教育の推進。	4	3年間の計画的な進路指導を十分に実施。	4	「得意や向いていることを考えている」90%以上。					
				3	〃 おおむね実施。	3	〃 ～80%以上。					
				2	〃 半分程度実施。	2	〃 ～70%以上。					
				1	〃 あまりできていない。	1	〃 70%未満。					
		自治的で成長につながる学校行事を行う。	①リーダー中心の主体性を重視した活動の実施。	4	行事で生徒の主体性を育む指導を十分に実施。	4	「楽しく学校生活を過ごしている」90%以上。					
				3	〃 おおむね実施。	3	〃 ～80%以上。					
				2	〃 半分程度実施。	2	〃 ～70%以上。					
				1	〃 あまりできていない。	1	〃 70%未満。					
働き方改革	教職員の仕事の質を維持しつつ、超過勤務時間を削減する。	一層の仕事効率化を図るとともに、枠組みの改革を行う。	①ICTを有効活用した仕事の効率化。 ②教員個々の時間管理の意識改善。	4	組織改革と意識改革を十分に実施。	4	「超勤月45時間未満の教員」90%以上。					
				3	〃 おおむね実施。	3	〃 ～80%以上。					
				2	〃 半分程度実施。	2	〃 ～70%以上。					
				1	〃 あまりできていない。	1	〃 70%未満。					

学校教育目標	○希望 ○創造 ○潤い	【目指す学校像】	○生徒が生き生きとして、自尊感情を高め、心を開ける学校○生徒・保護者・地域の願いに応え、ともに歩む学校○生徒・保護者・地域・教職員が安心でき、信頼し、躍進できる学校
		【目指す児童・生徒像】	○自ら学び、自ら考える生徒 ○他を思いやり、支え合う生徒 ○責任をもち、やりぬく生徒
		【目指す教師像】	○生徒を第一に考え、生徒の良さを伸ばす教師○自己の資質向上と健康管理に努める教師○和、礼、法を重んじ、信頼される教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	確かな学力の定着を図るために、ICTの活用、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善を進める。	言語活動や協働学習を通じた深い学びにつながる指導を実践する。	授業で、「つかむ・考える・広げる・深める」4ステップ授業を定着する。	4 深まりにつながる4ステップ授業を行った 3 「深める」ための授業の工夫を行った 2 主体的に対話的な授業の工夫を行った 1 個と集団を意識した授業を行った		4 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が90%以上 3 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が80%以上 2 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が50%以上 1 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が50%未満					
		考えを深めるための読解力と表現力を身に付けさせる。	国語科を中心に、読む・書く時間を確保するとともに、発表活動を充実させる。	4 深く読み、表現する授業を毎時間展開した 3 深く読み、表現する授業を7割以上行った 2 授業では自分の考えを書く 1 授業では読むこと書くことを大切にしたい		4 考え発表する体験が多いと感じた生徒が80%以上 3 考え発表する体験が多いと感じた生徒が70%以上 2 考え発表する体験が多いと感じた生徒が50%以上 1 考え発表する体験が多いと感じた生徒が50%未満					
		主体的な学習習慣を基に、主体的に学びに向かう態度を醸成する。	授業のねらいと振り返りを行い、自ら意欲をもって授業や家庭学習を主体的に取り組む。	4 毎時間の振り返りを次時に生かす指導を行った 3 毎時間のねらいと既習事項を関連付けた振り返りを行った 2 毎時間ねらいを示し、振り返りを行った 1 授業のねらいと振り返りを時々行った		4 主体的な学習習慣が定着した生徒が90%以上 3 主体的な学習習慣が定着した生徒が80%以上 2 主体的な学習習慣が定着した生徒が50%以上 1 主体的な学習習慣が定着した生徒が50%未満					
豊かな心	自己有用感を高めることで自尊感情を育み、お互いを大切に尊重できる豊かな人間関係を構築する。	考え、議論する道徳授業を実践し、よりよく生きる心を育てる。	全教員が道徳授業を行う。全教科で内容項目に関連付けて指導する。	4 生徒が考え、気付きのある発問を工夫した 3 教材解釈と教材の工夫を十分にを行った 2 計画通りに22の内容項目を全て扱った 1 自分で教材理解をして年間35時間行った		4 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が80%以上 3 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が70%以上 2 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が50%以上 1 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が50%未満					
		一人一人を大切に尊重し、努力を認めて褒めることで自尊感情を育む。	傾聴、共感、認める、助言、実行、賞賛する生徒育成サイクルによる指導を実践する。	4 生徒育成サイクル指導の実践が定着した 3 傾聴、共感、認めるから助言につなげた 2 傾聴、共感をし、認める努力をした 1 傾聴せずに、すぐ指導・説諭をする		4 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が90%以上 3 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が85%以上 2 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が50%以上 1 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が50%未満					
		気持ちよい挨拶や返事を通して、お互いが快適に過ごせる人間関係を築く。	自らすすんで挨拶や返事をする習慣を身に付けさせる。	4 学校内外では教員自ら挨拶や声かけを行った 3 学校生活での挨拶・返事の指導を徹底した 2 授業中の挨拶・返事の指導を徹底した 1 挨拶・返事の指導を時々行った		4 学校内外で、すすんで挨拶できる生徒が80%以上 3 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が80%以上 2 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が50%以上 1 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が50%未満					
健やかな体	自らの生活を健康的で健全にするために、情報活用や体力向上を図り、規則正しい生活を送る。	年間を通して健康に過ごすための基礎体力・持久力の向上を図る。	一人一人に体力向上における目標を設定させ、主体的に運動する習慣を身に付ける。	4 一つ一つの運動の効果や取組方法を徹底指導した 3 体力向上のために個に応じた方法を指導した 2 体力向上の意義と取組み方法を指導した 1 体力向上のための指導した		4 運動を主体的に取り組む生徒が90%以上 3 運動を主体的に取り組む生徒が70%以上 2 運動を主体的に取り組む生徒が50%以上 1 運動を主体的に取り組む生徒が50%未満					
		食事や睡眠を大切に、自らの健康増進に努める生徒を育てる。	栄養士と食への取組みを行い、保護者には早寝・早起き・朝ご飯の協力を求める。	4 学級で食の大切さと残さず食べる指導を徹底した 3 学級で食の大切さと残さず食べる指導をした 2 学級で残さず食べる指導に取り組んだ 1 学級で食育指導を定期的に行った		4 学んだ知識を生活に活かしている80%以上 3 学んだ知識を生活に活かしている70%以上 2 学んだ知識を生活に活かしている60%以上 1 学んだ知識を生活に活かしている60%未満					
		SNSの利活用について考え、規則正しい生活を送らせる。	SNS学校ルールの定着及び家庭ルールの作成・定着を図る。	4 SNSルールの徹底を家庭に指導した 3 SNSルールを学級で指導・徹底した 2 SNS家庭ルールの作成を学級で指導した 1 SNS学校ルールを学級で指導した		4 SNSルールを意識している生徒が80%以上 3 SNSルールを意識している生徒が65%以上 2 SNSルールを意識している生徒が50%以上 1 SNSルールを意識している生徒が50%未満					
輝く未来	体験的な活動や家庭・地域との連携を進め、将来にむけて確かな夢をもてるような人格形成を図る。	家庭・地域との信頼関係を深めるために情報発信を行い、意見を求める。	学校・学年だよりの発行、ホームページの更新を毎月行い、読者意見に丁寧に対応する。	4 毎月発行・更新し、地域からの意見に対応した 3 学校・学年だよりとHP更新は毎月1回以上行った 2 学校・学年だよりは毎月1回以上発行した 1 学校だよりは毎月1回以上発行した		4 学校の教育活動に安心している保護者が90%以上 3 学校の教育活動に安心している保護者が80%以上 2 学校の教育活動に安心している保護者が60%以上 1 学校の教育活動に安心している保護者が60%未満					
		キャリア教育によって夢をもち、実現に向けて努力する生徒を育成する。	総合的な学習の時間及び進路学習を通して、将来について具体的に考えさせる。	4 将来の夢の実現に向けた計画づくりを指導した 3 将来の自分を考えさせる指導を行った 2 自分の良さや適正を知る指導を行った 1 働く意義や職業について考えさせる		4 夢に向けてキャリアプランを作った生徒が55%以上 3 将来の夢を具体的に考えた生徒が80%以上 2 将来の夢を見付けるために進路学習を行った 1 将来の夢を見付けるために進路先を考えた					
		9年間を見通した計画的な指導を行い、地域との関わりを深めていく。	福島中グループの小中連携教育における3つのスタンダードを定着する。	4 スタンダードを周知・徹底し、小学校との実践を深めた 3 スタンダードを徹底するために家庭協力を求めた 2 スタンダード定着に向けクラスで指導・徹底した 1 スタンダードの内容を生徒に理解させた		4 スタンダードを実践し定着した 3 スタンダードを生徒・家庭が実践した 2 スタンダードを家庭が理解できた 1 スタンダードを生徒が理解できた					
働き方改革	教員の健康保持するための職場環境を整える。	時間外在校時間を月平均45時間、年360時間を進める。	ICTの活用、効率的な運営、進行管理を行う。	4 週1回の定時退勤を行った。 3 月1回以上の定時退勤を行った。 2 在校時間を意識して業務を行った。 1 在校時間を意識して業務に努めた。		4 時間外在校時間が月40時間50%以上 3 時間外在校時間が月45時間50%以上 2 時間外在校時間が月45時間50%未満 1 時間外在校時間が月45時間40%未満					

学校教育目標	すすんで学習に励む生徒 たくましい体力を身につけた生徒 規律と礼儀を重んじる生徒 すすんで働き、協力しあう生徒	【目指す学校像】	・真面目に努力する生徒が生き生きと活躍できる学校・自主・自立の精神を培うことができる学校・生徒・保護者・地域・教職員が誇りをもてる学校
		【目指す児童・生徒像】	・すすんで学習に励む生徒・たくましい体力を身につけた生徒・規律と礼儀を重んじる生徒・すすんで働き、協力しあう生徒
		【目指す教師像】	・親切、丁寧、傾聴・全員一丸での組織対応・「認める・信じる・導く」教師・チェックと改善・教育公務員の自覚・ライフワークバランス

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	全ての生徒に義務教育終了時に必要な基礎学力を定着させる学力保証の取組の充実	指導方法の工夫改善	ICT機器の活用と効果的な話し合い活動を行う	4 自己評価4段階平均値3.7以上		4 90%以上の生徒が授業が分かりやすいと回答						
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 80%～90%未満の生徒が授業が分かりやすいと回答						
				2 自己評価4段階平均値3.5以上		2 70%～80%未満の生徒が授業が分かりやすいと回答						
				1 自己評価4段階平均値3.5未満		1 70%未満の生徒が授業が分かりやすいと回答						
		学習意欲の向上と家庭学習の充実	『家庭学習の記録』、『タブレット』を活用し、宿題の出し方を工夫し、家庭学習を定着させる	4 自己評価4段階平均値3.7以上		4 70%以上の生徒が平均1時間以上勉強していると回答						
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 50%～70%未満の生徒が平均1時間以上勉強していると回答						
				2 自己評価4段階平均値3.5以上		2 40%～50%未満の生徒が平均1時間以上勉強していると回答						
				1 自己評価4段階平均値3.5未満		1 40%未満の生徒が平均1時間以上勉強していると回答						
豊かな心	多様な価値観の中で自身の判断力を磨き、心豊かに主体的に正しい判断をし行動できる人格の育成を目指す指導の充実	正しく判断し行動できる力の育成	生徒の心に寄り添う丁寧な生活指導や道徳教育を充実させる	4 自己評価4段階平均値3.7以上		4 90%以上の生徒が善悪を判断できる力が身に付いていると回答						
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 80%～90%未満の生徒が善悪を判断できる力が身に付いていると回答						
				2 自己評価4段階平均値3.5以上		2 70%～80%未満の生徒が善悪を判断できる力が身に付いていると回答						
				1 自己評価4段階平均値3.5未満		1 70%未満の生徒が善悪を判断できる力が身に付いていると回答						
		生徒の主体的活動の充実	教育活動に他者と関わりながら主体的に判断する内容を取り入れる	4 自己評価4段階平均値3.7以上		4 90%以上の生徒が思いやりの心をもって行動していると回答						
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 80%～90%未満の生徒が思いやりの心をもって行動していると回答						
				2 自己評価4段階平均値3.5以上		2 70%～80%未満の生徒が思いやりの心をもって行動していると回答						
				1 自己評価4段階平均値3.5未満		1 70%未満の生徒が思いやりの心をもって行動していると回答						
健やかな体	生き生きと豊かな社会生活を送るための基礎体力を身に付けさせる健康教育と体力向上の推進	基礎体力の向上	体育の授業や部活動、行事などを通じて基礎体力を向上させる	4 自己評価4段階平均値3.1以上		4 90%以上の生徒が学校で体を動かしていると回答						
				3 自己評価4段階平均値3.0以上		3 80%～90%未満の生徒が学校で体を動かしていると回答						
				2 自己評価4段階平均値2.9以上		2 70%～80%未満の生徒が学校で体を動かしていると回答						
				1 自己評価4段階平均値2.9未満		1 70%未満の生徒が学校で体を動かしていると回答						
		健康・安全に関する指導の充実	各学年・学級で状況に応じた健康・安全に関する日常的な指導を実施する	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 90%以上の生徒が安全や健康についての知識を生活の中で生かしていると回答						
				3 自己評価4段階平均値3.7以上		3 80%～90%未満の生徒が安全や健康についての知識を生活の中で生かしていると回答						
				2 自己評価4段階平均値3.6以上		2 70%～80%未満の生徒が安全や健康についての知識を生活の中で生かしていると回答						
				1 自己評価4段階平均値3.6未満		1 70%未満の生徒が安全や健康についての知識を生活の中で生かしていると回答						
輝く未来	自己を見つめ自らの生き方を考え、変化の著しい社会を生き抜く力を身に付ける生涯学習の視点からの進路指導の充実	進路指導の充実	生徒や保護者に寄り添い、親切丁寧な進路指導を実施する	4 自己評価4段階平均値3.7以上		4 90%以上の生徒が自分以外の人と将来について話をするがあると回答						
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 80%～90%未満の生徒が自分以外の人と将来について話をするがあると回答						
				2 自己評価4段階平均値3.5以上		2 70%～80%未満の生徒が自分以外の人と将来について話をするがあると回答						
				1 自己評価4段階平均値3.5未満		1 70%未満の生徒が自分以外の人と将来について話をするがあると回答						
		系統的な生き方指導の充実	三年間を通じて自己を見つめ、社会を知り、将来を考える指導を系統的に行う	4 自己評価4段階平均値3.9以上		4 90%以上の生徒が自分の将来について考えるがあると回答						
				3 自己評価4段階平均値3.8以上		3 80%～90%未満の生徒が自分の将来について考えるがあると回答						
				2 自己評価4段階平均値3.7以上		2 70%～80%未満の生徒が自分の将来について考えるがあると回答						
				1 自己評価4段階平均値3.7未満		1 70%未満の生徒が自分の将来について考えるがあると回答						
働き方改革	教員の心身の健康保持の実現と教員が誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境の整備	学校・教員が担うべき業務の見直し	教職員が業務改善に向けた具体的な取組を行う	4 自己評価4段階平均値3.4以上		4 90%以上改善できていると回答						
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 80%～90%未満改善できていると回答						
				2 自己評価4段階平均値3.2以上		2 70%～80%未満改善できていると回答						
				1 自己評価4段階平均値3.2未満		1 70%未満改善できていると回答						

学校教育目標	人権尊重の精神を基調とし、社会において信される人間性豊かな生徒の育成を目指す	【目指す学校像】	清泉中に関わるすべての者にとって「真に楽しく」「学び、集いあえる」学校
	豊かに、たくましく そして 創造的に	【目指す児童・生徒像】	心、感性をしなやかにして「豊かさ」を、しなやかさのある「たくましさ」を、そして、しなやかに考え「創造的に」の姿の育成をめざす
		【目指す教師像】	15歳の姿に責任をもつ

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎的・基本的な知識や技能の習得 思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学ぶ態度の育成と学習意欲の向上を図る。	「学ぶ」に対する基本的な姿勢を確立する (「何のために」「自らの考え」「協働的な学び」)	・授業スタイルの確立	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の教職員が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 70%以上の教職員が肯定的な回答					
		個別最適な学びがある	・ICT、デジタル教材等の効果的な活用	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 90%以上の教職員が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 80%以上の教職員が肯定的な回答					
		「学ぶ」に対する基本的な姿勢を確立する (「家庭学習の定着」「自主学習の定着」)	・教科等、学年における効果的な課題発信 ・放課後自主教室の定期的な開設	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 80%以上の教職員が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 70%以上の教職員が肯定的な回答					
2 自己評価4段階平均値3.1以上		2 60%以上の教職員が肯定的な回答									
1 自己評価4段階平均値3.1未満		1 60%未満の教職員が肯定的な回答									
豊かな心	落ち着いた学校生活の実現を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を高め、豊かな心の育成を図る。	「ことば」への意識を高める	・生徒会活動、学級活動において「あったかことば」「前向きことば」に関わる取組を設定	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答					
		規範意識のある自己肯定感、自己有用感を醸成する	・人権教育の推進 ・道徳教育の推進	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の教職員が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 70%以上の教職員が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 60%以上の教職員が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 60%未満の教職員が肯定的な回答					
		ものごとを「しなやか」に考え、受け止めることができる姿を醸成する	・読書活動の重視	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 65%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 50%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 50%未満の生徒が肯定的な回答					
健やかな体	心身ともにたくましく、健やかな生徒の育成を図る。	健康の価値を意識する場面がある	・自治的活動の重視 ・特別活動の重視	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の教職員が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 65%以上の教職員が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 50%以上の教職員が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 50%未満の教職員が肯定的な回答					
		食の大切さを理解し、自ら食生活に関わろうとする気持ちを醸成する	・献立コンクールの実施 ・栄養士、家庭科教員と連携した取組の実施	4 自己評価4段階平均値3.6以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.4以上		3 65%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.2以上		2 50%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.2未満		1 50%未満の生徒が肯定的な回答					
		身体を動かすことの楽しさを知り、継続したいという気持ちを醸成する	・元気アップガイドブックの活用	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.1以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.1未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答					
輝く未来	生徒一人ひとりの夢と希望を育むために、3年間の見通しに立った進路指導の実現を図る。	キャリア教育にアントレプレナーシップの視点を位置づける	・校外学習における学習内容の見直し及び実行	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 90%以上の教職員が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 75%以上の教職員が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 60%以上の教職員が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 60%未満の教職員が肯定的な回答					
		「何のために」を意識する「学び」がある	・SDGsの学びの重視 ・自分のよさや強みを生かそうとする「生き方探究」学習の実施	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 90%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 70%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 70%未満の生徒が肯定的な回答					
		体験活動や地域人材(材)と連携し、生徒が自分のよさや強みを生かそうとする気持ちを育む	・コミュニティ・スクールの利点を生かしたプログラムの実施 ・ボランティア活動の充実	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 90%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.1以上		2 70%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.1未満		1 70%未満の生徒が肯定的な回答					
働き方改革	教職員が心身の健康や職に対する誇りとやりがいを持ち、教育の質の維持と向上を図る。	教職員及び学校に関わる方々への働き方改革推進のねらいを正しく発信する	・保護者・地域への理解促進 ・地域学校協働本部の活用	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 80%以上の保護者・地域が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 70%以上の保護者・地域が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.1以上		2 60%以上の保護者・地域が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.1未満		1 60%未満の保護者・地域が肯定的な回答					

学校教育目標	勉学	よく考え正しく判断できる人	ビジョン	【目指す学校像】	(1) 自ら課題を解決する姿勢の育成(2) 共生的な態度の育成(3) 地域・保護者に信頼され、ともに歩む学校
	敬愛	人を敬愛し愛と慈しみのある人		【目指す児童・生徒像】	(1) 主体的に学ぶ生徒(2) 言葉を通して関係をよりよくする生徒(3) 自分自身を調整する生徒(4) 未知の状況に対応できる生徒
	至誠	誠実で責任感の強い人		【目指す教師像】	(1) 温かく厳しく指導する教師(2) 工夫と改善を心がける教師(3) 服務に厳正な教師
	健康	健康で心身ともにたくましい人			

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	基礎的・基本的な知識や技能の習得及び思考力・判断力・表現力等の育成	目標の明示と振り返りの工夫から指導と評価の一体化や授業改善を図る。	学習目標を提示し、振り返りを工夫することで、理解を深める	4 授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(9割)		4 授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(9割)						
		思考力・判断力・表現力等を育成する。	書くこと、話し合うこと、発表すること、ICTの活用等により、思考力等を育成する	3 授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(8割)		3 授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(8割)						
		主体的に学習に取り組む態度の育成と家庭学習の定着を図る。	「学習の手引き」の活用や各教科からの課題を通じた学習習慣の育成	2 授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(5割以上)		2 授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(5割以上)						
豊かな心	他を思いやる心を持ち、適切な判断ができる生徒の育成	人権尊重を重視する視点から、生命の尊重と共生の姿勢を育成する。	「人権教育プログラム」の活用や環境(言語、文章、掲示物等)の整備	1 授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(5割未満)		1 授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(5割未満)						
		他者理解を心がけ、人間関係における課題を見つけ、解決する生徒を育成する。	学級活動、学校行事、生徒会活動等における人間関係の構築	4 思考力等を育成する活動をした(9割)		4 思考力等を育成する活動をした(9割)						
		考え、議論する道徳の授業を実践し、よりよく生きる心を育てる。	内容項目に即した発問や話し合い活動の工夫	3 思考力等を育成する活動をした(8割)		3 思考力等を育成する活動をした(8割)						
健やかな体	心身ともにたくましく、健やかな生徒の育成を図り、健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を養う。	体育的な活動を効果的に実施し、体力向上と生涯にわたってスポーツに親しむ態度を育成する。	①体力向上に係る個人目標の設定。②体育大会等で工夫した活動の推進。	2 思考力等を育成する活動をした(5割以上)		2 思考力等を育成する活動をした(5割以上)						
		安全教育・防災教育を推進し安全意識・防災意識の向上を図る。	①安全指導・避難訓練を月に1回ずつ定期実施。②セーフティ教室・救命救急講習の実施。	1 思考力等を育成する活動をした(5割未満)		1 思考力等を育成する活動をした(5割未満)						
		SNSの活用について考え、規則正しい生活を送らせる。	SNS学校ルール、家庭ルールの定着を図る。	4 発問や話し合い活動の工夫をした(9割)		4 発問や話し合い活動の工夫をした(9割)						
輝く未来	生徒が自らの将来に向けて希望をもって卒業する。	キャリア教育の計画的な推進と夢の実現に向けて努力する生徒を育成する。	適切な進路指導計画の作成等とキャリアパスポートの活用	3 発問や話し合い活動の工夫をした(8割)		3 発問や話し合い活動の工夫をした(8割)						
		生徒ここに寄り添い、生徒自ら適切に進路を選択して努力できる力を養う。	①生徒の個別指導の計画的な実施。②三者面談による保護者との連携	2 発問や話し合い活動の工夫をした(5割以上)		2 発問や話し合い活動の工夫をした(5割以上)						
		生徒理解に基づき、配慮が必要な生徒への支援を行う。	特別な支援を要する生徒への個に応じた対応の確認、共有。	1 発問や話し合い活動の工夫をした(5割未満)		1 発問や話し合い活動の工夫をした(5割未満)						
働き方改革	教員の時間外在校時間が長時間に及ぶ状況を主体的に改善する。	時間外在校等時間の減少を図る。	定時退勤日の設定。メリハリのある教育課程の実施による事務作業時間の確保。	4 積極的な体育活動への参画に向けた指導を十分に支援。		4 体力テストで全学年が都標準以上。						

学校教育目標	進んで勉強しよう 思いやりのある人になろう 進んで心身をきたえよう	ビジョン	【目指す学校像】	1 共に学び、共に育つ学校 2 一人一人の可能性を引き出す学校 3 将来の夢や目標の実現に向けて共に未来を創る学校
			【目指す児童・生徒像】	1 問いをもち、仲間と共に学び合う生徒 2 自分も仲間も大切にし、温かい言葉と行動で周りを支える生徒 3 健康を大切にし、心身を整えられる生徒
			【目指す教師像】	1 未来を見据え、学びをつなぐ教師 2 生徒の多様な個性と未来を支える教師 3 対話と信頼を大切にできる教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策		
確かな学力	基礎的・基本的な知識・技能の確実な育成と個に応じた指導の充実	学習の定着を図る「振り返り」の工夫改善	教員同士の授業観察とフィードバックによる検証	4 授業観察を5回以上実施し、検証を行った	4 「振り返り」が学習の定着に役立っている95%以上	4 「振り返り」が学習の定着に役立っている95%以上							
				3 授業観察を4回実施し、検証を行った	3 「振り返り」が学習の定着に役立っている90%以上	3 「振り返り」が学習の定着に役立っている90%以上							
				2 授業観察を2回実施し、検証を行った	2 「振り返り」が学習の定着に役立っている85%以上	2 「振り返り」が学習の定着に役立っている85%以上							
					1 授業観察が実施できなかった。	1 「振り返り」が学習の定着に役立っている85%未満	1 「振り返り」が学習の定着に役立っている85%未満						
		ICT機器を効果的に活用した多様な指導方法の実践	生徒授業アンケートによる実態把握と検証	4 主体的・対話的な学びに直結する活用ができ、効果が見られた	4 ICT活用により理解が深まった85%以上	4 ICT活用により理解が深まった85%以上							
				3 ねらいに応じて使い分け、理解を深めるために役立てられた	3 ICT活用により理解が深まった80%以上	3 ICT活用により理解が深まった80%以上							
				2 資料提示や課題配布等、特定の場面で活用してきた	2 ICT活用により理解が深まった75%以上	2 ICT活用により理解が深まった75%以上							
					1 ICTの活用が限定的だった。	1 ICT活用により理解が深まった75%未満	1 ICT活用により理解が深まった75%未満						
		家庭学習の定着を図る教育実践と学習意欲の向上	テストに向けた計画的な家庭学習の指導	4 計画的な指導により、自ら課題を見付け、主体的に取り組む姿が見られた	4 計画的に家庭学習を行い、テストに臨めた70%以上	4 計画的に家庭学習を行い、テストに臨めた70%以上							
3 指導を行い、生徒が意識して取り組むことができた	3 計画的に家庭学習を行い、テストに臨めた60%以上			3 計画的に家庭学習を行い、テストに臨めた60%以上									
2 一定時間の家庭学習を促した	2 計画的に家庭学習を行い、テストに臨めた50%以上			2 計画的に家庭学習を行い、テストに臨めた50%以上									
			1 家庭学習を促したが、計画的な学習には至らなかった	1 計画的に家庭学習を行い、テストに臨めた50%未満	1 計画的に家庭学習を行い、テストに臨めた50%未満								
豊かな心	自らを高め、多様性を尊重する態度と豊かな感性、創造力、表現力の育成	自分らしく輝き、生徒が安心して過ごせる環境整備の推進	いじめ根絶の働き掛けとふれあい月間の取組の充実	4 予兆に対して即時かつ多角的な支援を組織的に行った	4 楽しく安心して落ち着いた生活ができている95%以上	4 楽しく安心して落ち着いた生活ができている95%以上							
				3 早期に察知し、連携しながら個別の状況に応じた支援を行った	3 楽しく安心して落ち着いた生活ができている90%以上	3 楽しく安心して落ち着いた生活ができている90%以上							
				2 調査によって気になる生徒への声掛けや状況確認を行った	2 楽しく安心して落ち着いた生活ができている85%以上	2 楽しく安心して落ち着いた生活ができている85%以上							
					1 表面化した後の対応にとどまり、未然防止・早期発見に至らなかった	1 楽しく安心して落ち着いた生活ができている85%未満	1 楽しく安心して落ち着いた生活ができている85%未満						
		多様で豊かな教育活動による自己有用感の醸成	協働・責任・達成感を体験できる体験活動の充実	4 互いの良さを認め、補完し合える集団設計を行った	4 行事等の活動を通じて、集団の中で自分が役立っていると感じる95%以上	4 行事等の活動を通じて、集団の中で自分が役立っていると感じる95%以上							
				3 役割を設定し、活動のプロセスにおいて助言を行った	3 行事等の活動を通じて、集団の中で自分が役立っていると感じる90%以上	3 行事等の活動を通じて、集団の中で自分が役立っていると感じる90%以上							
				2 多くの生徒が協力して取り組めるよう、必要な指導を行った	2 行事等の活動を通じて、集団の中で自分が役立っていると感じる85%以上	2 行事等の活動を通じて、集団の中で自分が役立っていると感じる85%以上							
					1 一斉指導が主となり、個々の役割や状態への配慮ができなかった	1 行事等の活動を通じて、集団の中で自分が役立っていると感じる85%未満	1 行事等の活動を通じて、集団の中で自分が役立っていると感じる85%未満						
		多様性の理解と人権尊重の意識を育む教育の推進	高い人権感覚を培う道徳教育の実践	4 深めた人権感覚が生活場面で発揮されるよう、指導が展開できた	4 自分や他者の良さに気付き、思いやりある言動を意識している90%以上	4 自分や他者の良さに気付き、思いやりある言動を意識している90%以上							
3 主体的な思考を促す発問や指導方法を工夫し実践できた	3 自分や他者の良さに気付き、思いやりある言動を意識している85%以上			3 自分や他者の良さに気付き、思いやりある言動を意識している85%以上									
2 導入や教材提示を工夫し、関心を高める授業を行った	2 自分や他者の良さに気付き、思いやりある言動を意識している80%以上			2 自分や他者の良さに気付き、思いやりある言動を意識している80%以上									
			1 内容項目の網羅や標準時数が優先され、心に響く指導が不足した	1 自分や他者の良さに気付き、思いやりある言動を意識している80%未満	1 自分や他者の良さに気付き、思いやりある言動を意識している80%未満								
健やかな体	健康的な生活習慣・食習慣による、心身ともに健やかな生徒の育成	保健指導を通じた生活習慣の改善	元気アップガイド、グッドモーニング60分、保健だよりの活用	4 資料を魅力的に活用し、家庭と連携した望ましい生活習慣の定着を推進した	4 自ら進んで生活習慣の改善に努めた85%以上	4 自ら進んで生活習慣の改善に努めた85%以上							
				3 計画的・継続的な指導を行い、自ら生活習慣を意識できるよう働きかけた	3 自ら進んで生活習慣の改善に努めた80%以上	3 自ら進んで生活習慣の改善に努めた80%以上							
				2 各種の配布を通じて、生活習慣の大切さを周知した	2 自ら進んで生活習慣の改善に努めた75%以上	2 自ら進んで生活習慣の改善に努めた75%以上							
					1 配布にとどまり、実態把握や意識変容への指導が不足した	1 自ら進んで生活習慣の改善に努めた75%未満	1 自ら進んで生活習慣の改善に努めた75%未満						
		食育活動を通じた健康的な食生活の推進	栄養士や食育担当による献立メモと給食指導を活用した食育の活動	4 栄養士と連携し、栄養バランスを自ら考え、実践できる環境を構築した	4 食生活や栄養への知識を、実生活に生かした80%以上	4 食生活や栄養への知識を、実生活に生かした80%以上							
				3 給食指導を効果的に活用し、食への関心や知識を深める指導を行った	3 食生活や栄養への知識を、実生活に生かした70%以上	3 食生活や栄養への知識を、実生活に生かした70%以上							
				2 献立メモ等により、望ましい食習慣の確立に向けた周知を図った	2 食生活や栄養への知識を、実生活に生かした60%以上	2 食生活や栄養への知識を、実生活に生かした60%以上							
					1 栄養士による指導に依存し、食育への働きかけが不足した	1 食生活や栄養への知識を、実生活に生かした60%未満	1 食生活や栄養への知識を、実生活に生かした60%未満						
		体力及び運動能力向上を目指す教育活動の推進	体育の授業、行事、昼休みの校庭開放、部活動等を通じた運動習慣の確立	4 生徒が自発的に体を動かす仕組みを構築・運用した	4 授業以外でも運動に親しみ、自ら進んで体を動かした90%以上	4 授業以外でも運動に親しみ、自ら進んで体を動かした90%以上							
3 生徒が運動に親しみ動機付けを丁寧に行った	3 授業以外でも運動に親しみ、自ら進んで体を動かした80%以上			3 授業以外でも運動に親しみ、自ら進んで体を動かした80%以上									
2 体力向上に向けた一定の取り組みを計画通り行った	2 授業以外でも運動に親しみ、自ら進んで体を動かした70%以上			2 授業以外でも運動に親しみ、自ら進んで体を動かした70%以上									
			1 運動機会の提供が限定的で運動習慣の確立に向けた支援が不足した	1 授業以外でも運動に親しみ、自ら進んで体を動かした70%未満	1 授業以外でも運動に親しみ、自ら進んで体を動かした70%未満								
輝く未来	自己を見つめ、生き方を考えていくための資質・能力の育成	自らの個性や可能性に築き、目標に向かって進路を切り拓く力の育成	キャリアパスポートを活用した行事や学級活動の振り返り	4 系統的な振り返りの仕組みを運用し、自己有用感を高める支援を行った	4 自分の良さや成長、将来の目標について考えるようになった90%以上	4 自分の良さや成長、将来の目標について考えるようになった90%以上							
				3 適切な対話・助言を通じ、自己の資質や成長を実感させる指導を行った	3 自分の良さや成長、将来の目標について考えるようになった85%以上	3 自分の良さや成長、将来の目標について考えるようになった85%以上							
				2 パスポートを活用し、活動の振り返りを行う機会を確保した	2 自分の良さや成長、将来の目標について考えるようになった80%以上	2 自分の良さや成長、将来の目標について考えるようになった80%以上							
					1 記録にとどまり、成長を自覚させる働きかけが不足した	1 自分の良さや成長、将来の目標について考えるようになった80%未満	1 自分の良さや成長、将来の目標について考えるようになった80%未満						
		社会の仕組みや働くことの意味を学ぶ教育活動の推進	職場体験や進路講話等、進路選択の視野を広げる機会の設定	4 外部と連携し、生き方と学びを繋ぐ探求的な指導を実践できた	4 多様な職業や生き方を知り将来への視野が広がった90%以上	4 多様な職業や生き方を知り将来への視野が広がった90%以上							
				3 多様な生き方や職業に触れる機会を設け、視野を広げる指導を行った	3 多様な職業や生き方を知り将来への視野が広がった80%以上	3 多様な職業や生き方を知り将来への視野が広がった80%以上							
				2 職場体験・講話等の行事を計画的に行い、選択に必要な情報提供を行った	2 多様な職業や生き方を知り将来への視野が広がった70%以上	2 多様な職業や生き方を知り将来への視野が広がった70%以上							
					1 行事の実施等にとどまり、学びの深化への支援が不足した	1 多様な職業や生き方を知り将来への視野が広がった70%未満	1 多様な職業や生き方を知り将来への視野が広がった70%未満						
		目標達成までのプロセスを重視した指導の充実	生徒や保護者に寄り添った丁寧かつ誠実な進路指導	4 意向を尊重し、納得度の高い選択ができるようバックアップ体制を整えた	4 必要な情報の入手や相談ができた90%以上	4 必要な情報の入手や相談ができた90%以上							
3 細やかな情報提供や助言を行い、課題を自覚できるよう指導した	3 必要な情報の入手や相談ができた80%以上			3 必要な情報の入手や相談ができた80%以上									
2 適切に進路情報を提供し、進路に向き合える環境を整えた	2 必要な情報の入手や相談ができた70%以上			2 必要な情報の入手や相談ができた70%以上									
			1 形式的な情報提供で具体的な助言やフォローが不十分だった	1 必要な情報の入手や相談ができた70%未満	1 必要な情報の入手や相談ができた70%未満								
働き方改革	教員の心身の健康保持やライフ・ワーク・バランスの取れた生活の推進	月2回の定時退勤の実施率60%を目指す。	校務のデジタル化と共有システムの構築による負担軽減	4 週に1回の定時退勤を実行する	4 ほぼ毎週1回の定時退勤ができた	4 ほぼ毎週1回の定時退勤ができた							
				3 月3回の定時退勤を実行する	3 月平均、3回の定時退勤ができた	3 月平均、3回の定時退勤ができた							
				2 月2回の定時退勤を実行する	2 月平均、2回の定時退勤ができた	2 月平均、2回の定時退勤ができた							
				1 月1回の定時退勤を実行する	1 月平均、1回の定時退勤ができた	1 月平均、1回の定時退勤ができた							